

日本史探求(予習・復習用)

[原 始] 旧石器・縄文・弥生時代(予習・復習用)	102
[古 代] 古墳時代(予習・復習用)	105
飛鳥時代(予習・復習用)	108
奈良時代(予習・復習用)	112
平安時代(予習・復習用)	114
[中 世] 鎌倉時代(予習・復習用)	122
室町時代(予習・復習用)	126
[近 世] 安土・桃山時代(予習・復習用)	134
江戸時代(予習・復習用)	138
[近 代] 明治時代(予習・復習用)	158
大正時代(予習・復習用)	170
昭和時代[戦前](予習・復習用)	176
[現 代] 昭和時代[戦後](予習・復習用)	184
[導 入] 授業形式	194

※このP101から、「通年テキスト」とは別に「穴埋め版テキスト(予習・復習用)」として切り離して2冊に分冊しておくことをお奨めします(予習時の頻度のcheck, 復習時のアウトプットが便利になります)。

[A] 旧石器時代・縄文時代

区分	旧石器時代	縄文時代
考古学	時代(_____ 時代・ _____ 時代) →	時代(_____ 時代) (1万3000年前～紀元前5世紀頃の _____ 年間)
地質学	(_____) →	(_____) ★年代測定法= _____ 法 → _____ 法・ _____ 法
気候	時代(寒冷な _____ 期と温暖な _____ 期が交互に繰り返される) →	温暖化(氷が溶けて海面が上昇する _____ →日本列島の形成)
植物	針葉樹林 (ex. マツ・スギ) → [草創期の土器(文様のない無文土器などがある)] _____ 土器(長崎県泉福寺洞穴で出土した世界最古の土器) _____ 土器(長崎県福井洞穴で出土した1万年前の土器) _____ 土器(爪・ヘラなどで文様を描く縄文草創期の土器)	落葉広葉樹林(東日本のブナ・ナラ)・照葉樹林(西日本のカシ・シイ) ★ドングリ・木の実を実らす→アーク抜き・食料の煮炊き・貯蔵用に土器を制作 縄文土器(黒褐色・厚手) ★縄文時代は土器の形式から6期に区分される _____ 期 → _____ 期 (_____ 土器) (_____ 土器) (_____ 土器) (火炎土器) (注口土器) (_____ 土器) 
動物	大型動物(大型動物を追って人類も日本列島に渡来) → 北方系= _____ ・ _____ 南方系= _____ ・ _____	中小動物(大型動物が死滅) _____ ・ _____
道具	_____ (石を打ち欠いた石器) _____ (_____) ・ 石斧(打撃用) ↓ ★ _____ (刃部のみを磨いた石斧) _____ (_____) (切断用) ↓ _____ (刺突用の槍先形) ↓ _____ (木や骨に細石刃をはめ込む) ★細石器が多く用いられた時代を 特に _____ 時代とすることも有る	_____ (石を研ぎ磨いた石器) _____ (_____ の先端につける) _____ (動物などの皮をはぐ) _____ ・ _____ (押しつぶす) _____ ・ _____ (網のおもり) _____ (動物の骨・角・牙を利用した _____ など) _____ (丸木を焼きえぐった舟) ★海面が上昇する _____ の結果、 入り江が増えて漁労が盛んになり、 また丸木舟を用いた外洋航海術を 縄文人が持っていたことがわかる
生活	移住生活(狩猟・植物性食料の採取の生活) → 獲物や植物性の食料がなくなると食料を求めて移住 →簡単なテント式住居や洞穴・岩陰などに一時的に居住	定住生活 → _____ (内部に食料の _____ を設けた掘立式の奈良時代までの一般住居) 台地上に中央の広場を囲む形で10戸程度の堅穴住居が営む _____ を形成
遺跡	① 人類の進化(_____ 人 → _____ 人 → _____ 人 → _____ 人) ② 化石人骨(主に石灰岩層から発見される新人段階の人骨) _____ 人骨(_____ 県) _____ 人骨(_____ 県)(中国南部の _____ 人と似た特徴) _____ 人骨(_____ 県)(約3万2000年前の日本最古の人骨) _____ 人骨(兵庫県)(_____ が発見→太平洋戦争で焼失) ③ 旧石器時代の遺跡 _____ 遺跡(_____ 県)(1946年に _____ が発見) _____ (更新世末期の地層)から _____ を発見 ★かつて日本には旧石器時代は存在しないと考えられていた _____ 遺跡(_____ 県)(湖底から _____ の化石発見) _____ 遺跡(_____ 県)(下層からナイフ形石器など発見)	① 縄文時代の遺跡 _____ 遺跡(_____ 県)(縄文前期～中期の遺跡) 500人規模の集落で1500年定住・6本の木柱を使用した掘立柱建物が出土 _____ 遺跡(_____ 県)(縄文晩期の遺跡) _____ 土器(精巧な文様をもつ縄文晩期の土器)・遮光器土偶などが出土 ② _____ (墓地も兼ねた居住地周辺の廃棄物の捨て場) _____ 貝塚(_____)… _____ (アメリカ人)が1877年に発見 _____ 貝塚(_____ 県)…国内最大の貝塚(ドーナツ形と馬蹄形) _____ 貝塚(神奈川県)…日本で初めて放射性炭素 ¹⁴ C法を実施 _____ 貝塚(福井県)…丸木舟・ヒョウタンの果皮・種子が出土 粟・稗・山羊・豆類・ヒョウタンなどを栽培した可能性も考えられる _____ 貝塚(岡山県)…170体ほどの人骨が出土し、ほとんどが屈葬

[特産品(旧石器時代から使用)]
 _____ 県 ・ 伊豆諸島
 熊本県 _____ ・ 大分県 _____
 北海道 _____ ・ 北海道 _____
 _____ (讃岐石)
 _____ 県 _____ ・ 讃岐国白峰山 _____ (_____)
 _____ 県 _____ 流域・糸川流域



[習俗・信仰(縄文時代)]
 ① _____ (死者の手足を折り曲げる埋葬形式)
 ★ _____ (貝製の _____)などの装身具が共同墓地から出土
 ② _____ (大小の石を円形に配列した墓地) ex. _____ 遺跡(_____ 県)
 ③ _____ (成人通過儀礼としての風習) ・ _____ (呪術者の証としての風習)
 ④ _____ (_____) (自然物・自然現象を畏怖する)
 ⑤ _____ (女性をかたどった土人形)
 ⑥ _____ (男性性器をかたどった磨製石器)

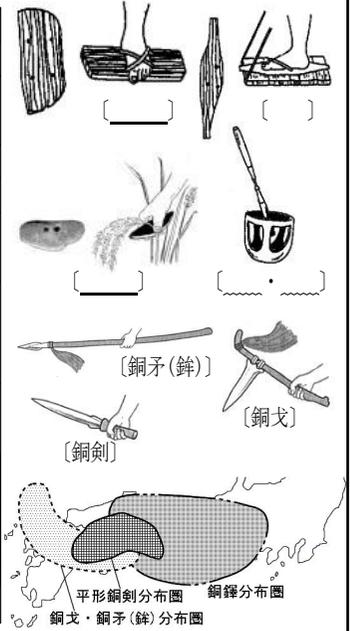
[B] 弥生時代

水
稲
耕
作
の
開
始

- ① 弥生文化 (紀元前4世紀?~紀元後3世紀に ___ ~ ___ まで栄えた文化)
 (1) ___ 年に ___ 本郷弥生町の ___ から発見されたことが由来
 (2) 2003年に ___ により紀元前10世紀とする説が出された
- ② 非農耕文化 (農耕を行わない狩猟・採集・漁労文化)
 北海道 = ___ 文化 (縄縄土器をとまう食料採取文化)
 → ___ 文化 (擦土器をとまう食料採取文化)
 ★樺太・南千島沿岸部では ___ 文化 (海洋狩猟民文化) が栄える
 沖 縄 = ___ 文化 (島嶼性を反映した食料採取文化)

- [水田遺構(水稲耕作の技術が中国の ___ (___) 下流域から伝来)]
- (朝寝鼻貝塚 (岡山県) (縄縄前期の ___ (___) (稲の化石) が検出)
 (___ 遺跡 (___ 県) (縄縄中期の雑穀の焼畑農耕が進展=原始農耕)
 (___ 遺跡 (___ 県) (縄縄晩期の水田跡を発掘) } 縄縄時代晩期には
 (___ 遺跡 (___ 県) (縄縄晩期の水田跡を発掘) } 稲作が開始された
 (___ 遺跡 (___ 県) (弥生前期の水田跡を発掘) } 約100年間で稲作が
 (___ 遺跡 (___ 県) (弥生中期の水田跡を発掘) } 東北地方まで伝わる
 (___ 遺跡 (___ 県) (弥生後期の水田跡・高床倉庫跡・畦畔を発掘)

	弥生前期	弥生後期
水田	___ (排水施設をもつ生産性の低い水田) → ___ (灌漑施設をもつ生産性の高い水田)	
種 粃	___ (種粃を直接水田に播く方法) ★田植えも始まっていた ex. ___ 遺跡 (岡山県)	
農 具	木製農具 (石包丁・太型蛤刃石斧を除く)	鉄製農具
工 具	___ (木材伐採用の大陸系磨製石斧)	鉄斧 (伐採用)・ ___ (加工用)
(耕作用)	木鋤・木鋤 (田を掘り起こす) ___ (水田の土をならす)	鉄鋤・鉄鋤 (鉄の刃先をつける)
(湿田用)	___ (田に足がめり込むを防ぐ) ___ (田に肥料を踏み込む) ___ (稲や肥料を運ぶ小型の舟)	
(収穫用)	___ (稲穂をつみとる大陸系磨製石器) → ___ → ___ で収穫 ★収穫した穀物は ___ や ___ に収納	___ ・石鎌 → ___ で収穫
(脱穀用)	___ ・ ___ (穀物を臼に入れて杵でつく)	
土 器	弥生土器 (赤褐色・薄手・硬質) ex. ___ (煮炊き用)・ ___ (貯蔵用) ___ (米蒸し用)・ ___ (盛付け用)	 [壺・甕・鉢・高杯・甑 (左順)]



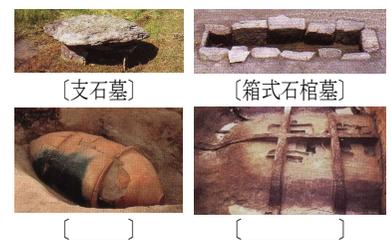
社
会
の
変
容

- ① 日本人の形成 (縄縄系の ___ ・弥生系の ___ の混血)
 ex. ___ 遺跡 (山口県) から矢が刺さった戦士など弥生系の人骨が出土
- ② 牧畜の始まり (ブタの飼育が行われたことが知られる)
- ③ 機織り技術の伝来 (織維によりをかけた糸を巻きとる ___ を使用)
- ④ 金属器の使用 (銅と ___ の合金の青銅器・鉄器はほぼ同時に伝来)
- (1) ___ (実用的な工具・農具・武器として使用)
- (2) ___ (非実用的な祭器・宝器として使用→のち大型化)
- ___ (瀬戸内海中心に出土)
 ___ (近畿地方中心に出土)
 ___ (九州北部中心に出土)
 ___ (九州北部中心に出土)
- ⑤ 墓制 (地域に応じて墓制の形態が異なる)
 → ___ (死者の手足を伸ばす埋葬形式→集落近くの共同墓地内に葬る)

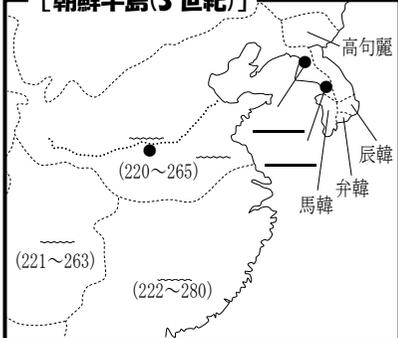
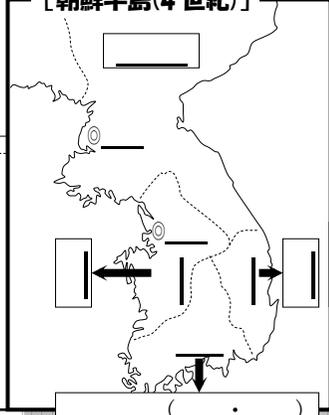
- [青銅器の代表的な遺跡]
- ① ___ 遺跡 (___ 県) (銅剣・銅矛・銅鐮が出土)
 ★各種の青銅器が特定の地域にしか出土しないという定説を覆す
- ② ___ 遺跡 (___ 県) (日本最多の39個の銅鐮が出土)

- [集落 (軍事的・防衛的施設を整えた集落)]
- ① ___ 集落 (瀬戸内地方中心に、山頂・丘陵上にある集落)
 ex. ___ 遺跡 (香川県) ・ 会下山遺跡 (兵庫県)
- ② ___ 集落 (九州～関東中心に、周りを溝で取り囲んだ集落)
 ex. ___ 遺跡 (___ 県) ・ ___ 遺跡 (___ 県)
 ★大塚遺集落で、物見壇 (魏志倭人伝の楼観か) を発掘 (1986)
 ___ 遺跡 (___ 県) ・ ___ 遺跡 (___ 県)
 ★大塚遺集落で、多数の弥生土器・木製農具を発掘 (1937))

- (1) 九州北部 = ___ (二つの甕を合わせた甕形の棺)
 朝鮮半島南部の ___ (支石の上に大きな板石を載せる)
 影響が大きい ★ ___ 遺跡 (___ 県) に多くの甕棺墓・支石墓が存在
- (2) 西日本 = ___ (板石を長方形の箱状に組み合わせた棺)
 ★特定の甕棺墓・支石墓・箱式石棺墓から銅剣・銅鐮などの ___ が出土
- (3) 近畿地方 = ___ (方形の低い墳丘の周りに溝をめぐらす)
- (4) 西日本 = ___ (共同墓地外に造られた墳丘をもつ墓→最大級は ___ 遺跡 (___ 県))
 ★ ___ (山陰・北陸地方に広がる方形の四隅が突出した墳丘墓)



[A] 小国の分立と統合

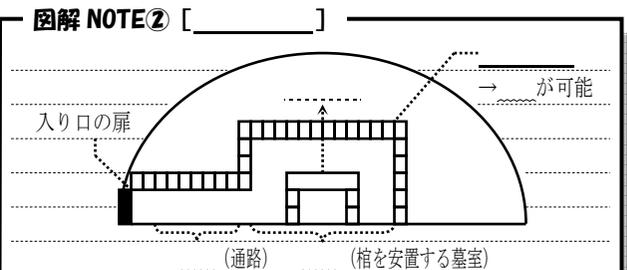
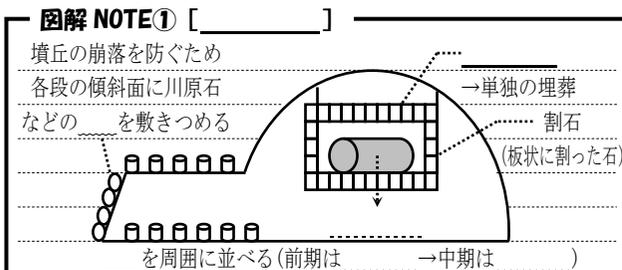
中国	中国の史書による倭国(日本)の記述								
<p style="text-align: center;">[] (前漢) (前202年に劉邦が建国)</p> <p style="text-align: center;">↓ (新)</p> <p style="text-align: center;">[] (25年に光武帝が再興)</p> <p style="text-align: center;">↓ (年)に滅亡</p> <p style="text-align: center;">[] [] [] (三国時代)</p> <div style="text-align: center;">  <p>[]</p> </div> <p style="text-align: center;">魏</p> <div style="text-align: center;">  <p>(断面図)</p> </div> <p style="text-align: center;">(265)</p> <p style="text-align: center;">[] (西晋)</p> <p style="text-align: center;">↓ (316)</p> <p style="text-align: center;">五胡十六国 東晋</p> <p style="text-align: center;">↓ (439) ↓ (420)</p> <p style="text-align: center;">[] []</p>	<p>『 [] 』 (1世紀に [] が編纂) ————</p> <p>紀元前1世紀, [] は 余国に分立し, [] (現在の [] 付近) に定期的に遣使して朝貢</p> <p>★ [] ([] が紀元前 [] 年に [] を滅ぼして設置した行政区4郡の一つ)</p> <hr/> <p>『 [] 』 (5世紀に [] が編纂) ————</p> <p>[] 年 倭の [] 国の王が後漢に遣使→ [] (後漢の都) に赴き, [] の [] から [] を賜る (建武中元2年) → [] 県 から「 [] 」の金印が発見される (1784年に筑前国の農民が発見)</p> <p>★ 奴国は福岡県 [] 地方に存在した国→ [] 遺跡 ([] 県) から発見された [] が奴国の王墓と推定される</p> <p>[] 年 倭国の王 [] らが, [] ([] のこと) [] 人を [] に献上 (安帝の永初元年) ★ [] 世紀 (桓帝・靈帝の間) には倭国大乱</p> <div style="text-align: right;">  <p>[] 出土金印</p> </div> <hr/> <p>『 [] 』 (3世紀に [] が編纂→正式名称は『 [] 』魏書東夷伝倭人条) ————</p> <p>[] ([] 国余りの小国連合の盟主国→邪馬台国の位置=九州説 ([] 遺跡が論拠) ・近畿説 ([] 遺跡が有力な論拠))</p> <p>★近畿説の場合…既に3世紀前半には近畿から九州北部に及ぶ広域の政治連合が成立していた→後のヤマト政権につながることになる</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">政治</td> <td>[] (邪馬台国の女王→夫を持たず, 弟が政治を補佐) → [] ([]) を行う ★宮殿には [] ([]) (物見やぐら) ・城柵を設置</td> </tr> <tr> <td>地方</td> <td>[] (諸国を検察する役人) を [] 国に設置 ★平原遺跡 (福岡県) が伊都国 (福岡県前原市付近) の王墓? 身分制度 = [] (支配者層) - [] (被支配者層)</td> </tr> <tr> <td>社会</td> <td>租税制度・刑罰制度・市場あり ★市場は [] (市場を監督する役人) が管理</td> </tr> <tr> <td>習俗</td> <td>[] (男の服装) ・ [] (女の服装) ★男性は大人も子供も顔や体に入れ墨をしていた</td> </tr> </table> <div style="text-align: right;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">[朝鮮半島(3世紀)]</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">[朝鮮半島(4世紀)]</p>  </div> </div> <p>[] 年 [] が [] ([]) を魏に遣使→ [] (現在の [] 付近) を通じて [] (魏の都) に赴く (景初3年) →「 [] 」の称号・銅鏡100枚・金印紫綬を魏の [] から賜る</p> <p>★卑弥呼の賜った銅鏡100枚を [] と推定する説もある</p> <p>248年 [] 国 (王=卑弥呼) と抗争中に卑弥呼死亡</p> <p>★ [] 古墳 ([] 県) =倭迹迹日百襲姫命 (卑弥呼に比定される) が被葬者 →男王を立てるが混乱→ [] (卑弥呼の []) を女王に擁立して混乱収束</p> <hr/> <p>[] 年 [] が洛陽 (晋の都) に遣使 in『 [] 』倭国伝</p> <p>→『晋書』以降, 150年間中国の史書に日本の記述なし</p> <p>★のち, 中国は東晋十六国(五胡十六国)時代 (4世紀) } 中国の朝鮮半島に [] (北朝) ・ [] (南朝) の [] 時代 (5世紀) } 対する支配力が弱まる</p> <p>① [] が [] を滅ぼす ([] 年)</p> <p>② [] を [] が, [] を [] がそれぞれの地域を統合して成立 (4世紀半ば)</p>	政治	[] (邪馬台国の女王→夫を持たず, 弟が政治を補佐) → [] ([]) を行う ★宮殿には [] ([]) (物見やぐら) ・城柵を設置	地方	[] (諸国を検察する役人) を [] 国に設置 ★平原遺跡 (福岡県) が伊都国 (福岡県前原市付近) の王墓? 身分制度 = [] (支配者層) - [] (被支配者層)	社会	租税制度・刑罰制度・市場あり ★市場は [] (市場を監督する役人) が管理	習俗	[] (男の服装) ・ [] (女の服装) ★男性は大人も子供も顔や体に入れ墨をしていた
政治	[] (邪馬台国の女王→夫を持たず, 弟が政治を補佐) → [] ([]) を行う ★宮殿には [] ([]) (物見やぐら) ・城柵を設置								
地方	[] (諸国を検察する役人) を [] 国に設置 ★平原遺跡 (福岡県) が伊都国 (福岡県前原市付近) の王墓? 身分制度 = [] (支配者層) - [] (被支配者層)								
社会	租税制度・刑罰制度・市場あり ★市場は [] (市場を監督する役人) が管理								
習俗	[] (男の服装) ・ [] (女の服装) ★男性は大人も子供も顔や体に入れ墨をしていた								

[NOTE]

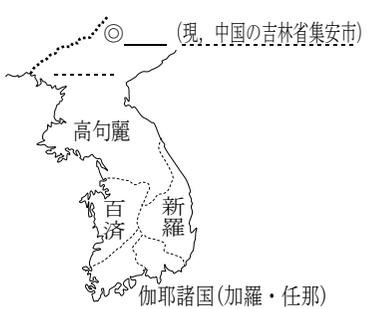
- ①水稲耕作の開始(食料採取段階から食料生産段階へ)→貧富の差が生まれ, 身分階級が発生
- ②地域ごとに集落(ムラ)が形成される→治水・灌漑などの共同作業を指導し, 集落(ムラ)を統率する首長が出現
- ③灌漑用水の確保, 余剰生産物の収奪などをめぐり争いが始まる→強力な集落(ムラ)は周辺の集落(ムラ)を統合し, 小国(クニ)へ発展
- ④紀元前1世紀……………は 余国に分立→朝鮮半島の [] へ定期的に遣使
- ⑤紀元後1世紀……………小国の王による地域の統合が進展→後漢の都の [] へ遣使
- ⑥紀元後 [] 世紀……………戦乱が激化し, 倭国大乱(→この頃の倭国内では軍事的・防衛的な機能を持つ [] ・ [] が多く造られている)
- ⑦紀元後3世紀……………争っていた国々が共同して, [] の女王 [] を倭国王に立てたことで大乱が収束

[A] 古墳の変遷

	前期(3世紀後半～4世紀)	中期(4世紀末～5世紀)	後期(6世紀～7世紀)
支配体制	① <u>家</u> を中心に畿内・瀬戸内の豪族が連合したヤマト政権が成立 ② 結束のため画一的な前方後円墳を築造	① ヤマト政権の支配地域が関東～九州まで全国的に拡大(古墳が東北地方にも分布) ② 特に畿内中央部の勢力が強大化	① 大王(ヤマト政権)に各地の豪族が服属 ② 農業生産力の向上→有力農民の台頭 →ヤマト政権の支配下に組み込む
地域	畿内中心(丘陵・台地に多い) ★瀬戸内海沿岸にも発生	全国に拡大(平野に巨大な墳墓)	全国に分布(山間にも築造)
形態	(西日本に多い) 前方後方墳(東日本に多い) 円墳(円形の古墳)・方墳(方形の古墳)	規模が巨大化	規模が縮小 (小規模な__の集まり)
埋葬構造	★墳丘の崩落を防ぐために__を葺く (木棺の周りを粘土で固める)		(朝鮮半島の影響を受ける) ★内部に__(通路)・__(棺を安置する室) (丘陵の斜面などに水平に掘る)
—	(筒形のものなど) ★土留め・葬列模倣・殉死代用などの説	(家・動物・人物などをかたどる) ★家形埴輪・器材埴輪・人物埴輪・動物埴輪	減少
内部		長持形石棺	
副葬品	銅鏡・勾玉(呪術的・宗教的なもの) ★副葬品として__(装身具)も出土 ex.__(約400面発見) ★__(同じ鑄型で作った鏡) 船載鏡(中国などで作った鏡) 仿製鏡(船載鏡を模倣して作った鏡)	武器・馬具(軍事的なもの) ★高句麗の騎馬軍団との戦いで、倭人たちは騎馬技術を学び、馬具が副葬されるようになる cf. 騎馬民族征服王朝説(__ が提唱) →大陸から騎馬民族が九州へ渡来し、近畿へ移動して征服王朝をつくったとする説	日常生活用具(須恵器・土師器などの土器) [土器] __(弥生土器の系譜→赤褐色) __(朝鮮半島から伝来→黒灰色) ★__を使用し、__で焼成
被葬者	司祭者的性格の首長	武人的性格の首長	有力農民の台頭 ★古墳時代に農業生産力が向上したことが背景 ex. 渡来人の伝えた__鍛先・鋤先や__など鉄製農具の普及、__の普及
代表例	古墳(__ 県) __遺跡(__ 県)の遺跡内にある 前期古墳の中で最大・最古の前方後円墳 →倭迹迹日百襲姫命が被葬者 椿井大塚山古墳(京都府) 32面の三角縁神獣鏡が出土した前方後円墳 浦間茶臼山古墳(岡山県) 前期古墳としては中国地方最大の前方後円墳	古墳(__) (全国1位) __の中心で__天皇陵とされる 古墳(大阪府) (全国2位) __の中心で__天皇陵とされる 古墳(大阪府) (全国3位) 百舌鳥古墳群の一つで履中天皇陵とされる 古墳(__ 県) (全国4位・中国地方最大) 古墳(岡山県) (全国9位・中国地方2位) 古墳(群馬県) (全国27位) 東日本で最大の前方後円墳	古墳(__ 県) (群集墳) 古墳(奈良県) (群集墳) 古墳(埼玉県) (横穴墓) 古墳(奈良県法隆寺の西にある円墳) 金銅製の服飾具・精巧な馬具などの副葬品が出土 古墳(墓室に彩色画・彫刻を施した古墳) 高松塚古墳(奈良県)・竹原古墳(福岡県)が代表
終末期古墳	年__ (大化の改新に際して、身分に応じた墳墓の大きさ・築造日数を定める=墳墓の築造を簡素化) 薄葬令により巨大古墳が禁止されたこと、仏教の伝来により火葬が一般化、寺院や仏院が豪族の権威の象徴となったため、以降古墳は衰退 →終末期古墳(7世紀後半～8世紀にかけての特殊な古墳) ex. __古墳(__ の墓?)・__古墳・__古墳・__遺跡(齊明天皇期の遺跡)(全て __ 県(飛鳥の中心地域)で発見) __(7世紀後半の正八角形の古墳で、御廟野古墳(京都府の天智天皇陵)・野口王墓古墳(奈良県明日香村の天武・持統天皇陵)が有名)		



[A] ヤマト(大和)政権(王権)

	国内・対外関係	古墳文化
4世紀	<p>_____年 _____県 (_____ [_____] 氏の氏神) に所蔵されている (泰和4年) _____の _____が倭王に贈った、表裏に金石文で61文字の銘文がある鉄剣</p> <p>_____年 朝鮮出兵 (目的=朝鮮半島の先進技術と鉄資源の獲得のため) → (辛卯の年) 百済・新羅・加羅に侵攻してきた高句麗の _____ (_____) の軍に敗れる in 「_____」 (子の _____ が高句麗の都の _____ に建立)</p>	<p>_____ [_____] の来日 (_____ 天皇期の5世紀初め)</p> <p>_____ (秦 氏の祖) ★養蚕・機織りを伝える</p> <p>_____ (東漢氏の祖) } ★東漢氏と西文氏は東・西</p> <p>_____ (西文氏の祖) } _____ (文筆を担当) を管理</p> <p>★『_____』・『_____』 (識字・習字テキスト) を伝える</p>
5世紀	<p>5世紀 倭の五王が南朝の _____ へ遣使 in 『_____』 目的=朝鮮半島南部をめぐる外交・軍事上の立場を有利にするため</p> <p>421年 倭国王 _____ (応神天皇 or 仁徳天皇 or 履中天皇) が宋に遣使</p> <p>438年 倭国王 _____ (仁徳天皇 or 反正天皇) が宋に遣使</p> <p>443年 倭国王 _____ (_____ 天皇) が宋に遣使</p> <p>462年 倭国王 _____ (_____ 天皇) が宋に遣使</p> <p>_____年 倭国王 _____ (_____ 天皇) が宋に遣使</p> <p>(順帝の昇明二年) 宋の _____ から6国の軍事的支配権を持つ「_____ 倭王」に叙任される →以前から南朝に朝貢し、軍事的支配権を認められていた百済は除かれた</p>	<p>_____ [ヤマト政権の支配拡大]</p> <p>_____ 県 _____ 古墳出土鉄刀 _____ が「獲□□□歯大王」に典曹人として仕える</p> <p>_____ 県 _____ 古墳出土鉄剣 (_____ 年) (辛亥年) _____ 臣が「獲加多支歯大王」に杖刀人首として仕える</p> <p>★「獲加多支歯大王」→ _____ 天皇に比定される</p> <p>_____ 県 _____ (_____ 年?) 銅鏡に48字の銘文を記す (即位前の _____ 天皇時?)</p>
	<p>507年 _____ 天皇が即位 (_____ 天皇の死後, _____ [大連] が越前から迎える) ← ★6世紀以降、国家体制を固めていった新羅が高句麗・百済・伽耶へ勢力拡大</p> <p>_____年 _____ [大連] が任那(伽耶諸国)4県を _____ に割讓</p> <p>↓</p> <p>★のち, _____ から賄賂を受け取っていたことなどを糾弾され失脚 (_____ 年)</p> <p>_____年 _____ の乱 (_____ と通じていた _____ [_____] が起こした反乱) _____ を将とするヤマト政権の任那救援・新羅征討軍を阻むため反乱 → _____ が鎮圧 (福岡県の _____ 古墳は磐井の墓と推定される)</p>	<p>513年~ _____ から _____ が来日 (儒教の伝来) ★五経= 「_____」 「_____」 「_____」 「_____」 「_____」 →のち, _____ 博士・ _____ 博士・ _____ 博士も来日</p> <p>_____年 _____ が私宅で仏像を礼拝 (仏教私伝) in 『_____』 (皇円が著した歴史書)</p>
	<p>_____年 _____ により伽耶諸国(加羅・任那)滅亡</p> <p>[崇仏論争]</p> <p>(崇仏派) _____ [_____] VS (排仏派) _____ [_____]</p> <p>_____ [_____] VS _____ [_____]</p>	<p>_____ [仏教公伝(6世紀)]</p> <p>_____ の _____ が _____ 天皇に仏教を伝える</p> <p>_____ 年(_____) 説= 『_____』</p> <p>_____ 年(_____) 説= 『_____』</p>
	<p>_____年 丁未の乱 (_____ が _____ を滅ぼす) _____ 天皇 (厩戸王(聖徳太子)の父) の死後, 皇位継承争いをめぐり対立 →戦後, 厩戸王(聖徳太子)は難波に _____ 寺・蘇我馬子は _____ 寺(飛鳥寺)を建立</p>	
	<p>_____年 _____ が _____ 天皇を暗殺 (実行犯は東漢直駒) ★ _____ 古墳 (_____ 県) は蘇我馬子の墓と比定される</p>	

_____ [_____ 氏の祖先神である _____ ・自然神を祀る]

_____ (三重県) (_____ を祀る) ★ _____ (伊勢神宮の建築様式)

_____ 大社(島根県) (_____ を祀る) ★大社造 (出雲大社の建築様式)

_____ 大社(大阪府) (_____ を祀る) ★住吉造 (住吉大社の建築様式)

_____ 神社(奈良県) (_____ を神体とする)

_____ 大社(_____ 県) (_____ を神体とする)

★沖ノ島=玄界灘に浮かぶ島で、海の正倉院と呼ばれる

_____ [習俗]

_____ (けがれなどを水で清める) ・ _____ (けがれなどを払い除ける)

_____ (鹿の肩甲骨を焼いて、その割れ具合で今後の吉凶を占う)

_____ (熱湯に手を入れて、火傷の有無によって真偽を確かめる原始的裁判)

_____ (春に行う豊作を祈願する農耕儀礼)

_____ (秋に行う収穫を感謝する農耕儀礼)

★天皇即位の年に行われるものを特に _____ という (天武朝から開始か?)

[B] ヤマト政権の政治制度

氏姓制度

(豪族を大王家中心の支配体制に組み入れるための政治的身分秩序)

= 血縁的結びつきを中心に構成された擬制的同族集団 (もと豪族)

→ (首長)・ (一般構成員) から構成され、部民や () (奴隷) を隷属させる

★ (民衆の集落と離れた場所に造営され、周囲に環濠や柵をめぐらした豪族の居住地)

ex. 遺跡 (群馬県で日本で最初に発見された古墳時代後期の豪族の居館跡)

= それぞれの氏の職務や家柄など社会的地位に応じて、ヤマト政権から与えられた称号 (世襲制)

- (地名を氏の名とし、大王家から分かれたとされる大和地方の有力豪族に与えられる)
- ex. 臣 ([] を管理) ・ 臣 ・ 臣
- (特定の職能で仕えた有力豪族 [有力伴造豪族] に与えられる)
- ex. 連 ・ 連 (軍事) ・ 連 (祭祀)
- (地方の有力豪族に与えられる)
- (地方の一般豪族に与えられる)

図解 NOTE [ヤマト政権の職掌]

① ヤマト政権は特定の職務を 豪族が分担

(1) 重要職務は有力伴造豪族「連」が担当

ex. 軍事 = , 祭祀 =

(2) それ以外の職務は一般伴造豪族が担当

ex. 機織 = 秦氏・文筆 = 氏・ 氏

② 大王家から分かれたとされる大和地方の「臣」は特定の職務なし→主な「臣」は衰退

③ 焦った 氏はヤマト政権の財政を担当

→各地に , を設置

→貢納品を () で管理

ヤマト政権の職制

(中央) (7世紀末に天皇の称号を採用)

(臣姓から任命) (連姓から任命)

大夫 (臣・連の有力者から任命)

(特定の職務を担当する小豪族)

(伴造の補佐)

(特定の職務にあたる技術者集団)

ex. (錦を織る品部)

(鉄製品を製造する品部)

(馬具の鞍を製作する品部)

(土師器を生産する品部)

(須恵器を生産する品部)

(外交文書を作成する品部)

[地方]

(畿内の朝廷の直轄領や、畿外の地方地域を支配)

(ヤマト政権から任命され、複数の郡程度の地方地域を支配)

★ヤマト政権の屯倉、子代・名代を管理→律令制下で郡司となる

(国造・県主と並び地方を支配→八色の姓で最下位となる)

[私地私民制] (大王家と豪族が土地・人民を個別に支配する体制)

大王(朝廷)	豪族
直轄地 = () が耕作	私有地 = () (部曲が耕作)
直轄民 = ・	私有民 = (蘇我部など)
() (労働集団の総称)	() (氏に隷属する奴隷)

前期(4世紀)	中期(5世紀)	後期(6世紀)
<p>① 弥生時代から、武器や農具に加工する鉄資源の確保は豪族にとって必要不可欠</p> <p>② 鉄資源の入手ルートは中国→百済・新羅 → 伽耶諸国 → 九州北部 → 瀬戸内・畿内</p> <p>あるため、畿内・瀬戸内の豪族は不利</p> <p>③ 鉄資源を確保するため、 家を中心に 畿内・瀬戸内の豪族が連合(ヤマト政権)</p> <p>④ but...4世紀後半から高句麗が南下政策 → 高句麗が百済・新羅・伽耶諸国を圧迫</p> <p>⑤ 鉄資源を確保するため、朝鮮出兵(年)</p>	<p>① ヤマト政権の支配地域が九州～関東にまで全国に拡大</p> <p>ex. 県 古墳出土鉄刀</p> <p>県 古墳出土鉄剣</p> <p>② 国内の諸豪族の支配を安定させるため、南朝の に朝貢し の称号を賜る</p>	<p>ヤマト政権に各地の豪族が服属</p> <p>① 服属した豪族たちはヤマト政権の支配下に組み込まれ となる</p> <p>② それぞれの氏の家柄・地位に応じて ・ などの という称号を与える = (5世紀後半～)</p>

[A] 大化の改新

国内情勢	対外関係
<p>年 天皇が_____で即位(崩御は_____)</p> <p>↓</p> <p>→ _____と _____(_____)が補佐</p> <p>年 _____(_____) (推古天皇の甥) が皇太子となる</p> <p>594年 _____(仏・法・僧の三宝を興せとの詔)</p> <p>年 _____(才能や功績に応じ、冠位を個人に与える) ← _____</p> <p>_____をそれぞれ _____に分けて12階とする</p> <p>★姓氏制度による世襲制を打破し、官僚制への再編をめざす</p> <p>年 _____(官人に対する道徳的訓戒や服務規程を示す)</p> <p>①の尊重・②三宝(_____)の崇敬・③天皇への服従</p> <p>★豪族に国家の官僚としての自覚を求め、従来の組織を再編する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[その他の諸政策]</p> <p>① 仏教政策 = 『 _____ 』(_____ 経・ _____ 経・ _____ 経の注釈書) by _____(_____) (高句麗の僧 _____ から仏教を学ぶ) cf. _____ (602年に来日した百済の僧一麁・天文学を伝える) _____ (610年に来日した高句麗の僧一紙・墨・絵具を伝える)</p> <p>② 国史編纂 『 _____ 』・『 _____ 』(のち、乙巳の変により焼失) by _____(_____)・ _____</p> </div>	<p>589年 _____が中国を統一(→隋に従わない高句麗の征討をめざす)</p> <p>年 最初の遣隋使(→ _____ から倭の政治・風俗を窺められる)</p> <p>(開皇20年) 『 _____ 』に記録はあるが、日本側の『日本書紀』には記録なし</p> <p>年 _____を遣隋使として派遣</p> <p>(大業3年) → _____に国書提出「日出づる処の天子…」(『 _____ 』)</p> <p>↓</p> <p>★中国皇帝に臣属しない形式をとったため、煬帝から無礼とされる</p> <p>年 _____[答礼使]と共に帰国</p> <p>年 小野妹子を再び遣隋使として派遣</p> <p>_____ (留学生)・ _____ (学問僧)も渡隋</p> <p>→煬帝に国書提出「東の天皇、敬みて…」(『 _____ 』)</p> <p>614年 最後の遣隋使(_____ を派遣)</p> <p>年 _____の滅亡(→ _____ 遠征の失敗などで人民の支持を失う)</p> <p>→ _____建国(強力な _____ の体制を形成)</p> <p>_____の構築(中国と周辺諸国は宗主国と属国の主従関係)</p> <p>→唐に従わない _____の征討をめざす</p>
<p>632年 _____帰国 ← _____</p> <p>640年 _____・ _____ 帰国</p>	<p>年 最初の遣唐使(_____ 天皇が _____ を派遣)</p> <p>★儀礼的な朝貢形式(遣隋使・遣唐使は共に冊封は受けていない)</p>
<p>643年 _____(厩戸王(聖徳太子)の子)が _____で自殺</p> <p>↓</p> <p>→ _____(_____ の子)に攻撃される</p> <p>★ _____(蘇我氏を外戚とする)を次期天皇に推していた</p> <p>年 _____(大王を中心とした中央集権国家の確立をめざす) ← _____</p> <p>_____・ _____が _____を _____で殺害</p> <p>→ _____は自宅で自殺(この際に『天智記』・『国記』も焼失)</p> <p>★ _____(乙巳の変以降に始まる一連の政治改革をいう)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[新政権の組織(大臣・大連を廃止)]</p> <pre> graph TD A[] --- B[左大臣] A --- C[右大臣] A --- D[] A --- E[] A --- F[] A --- G[] A --- H[] A --- I[] A --- J[] A --- K[] A --- L[] A --- M[] A --- N[] A --- O[] A --- P[] A --- Q[] A --- R[] A --- S[] A --- T[] A --- U[] A --- V[] A --- W[] A --- X[] A --- Y[] A --- Z[] A --- AA[] A --- AB[] A --- AC[] A --- AD[] A --- AE[] A --- AF[] A --- AG[] A --- AH[] A --- AI[] A --- AJ[] A --- AK[] A --- AL[] A --- AM[] A --- AN[] A --- AO[] A --- AP[] A --- AQ[] A --- AR[] A --- AS[] A --- AT[] A --- AU[] A --- AV[] A --- AW[] A --- AX[] A --- AY[] A --- AZ[] A --- BA[] A --- BB[] A --- BC[] A --- BD[] A --- BE[] A --- BF[] A --- BG[] A --- BH[] A --- BI[] A --- BJ[] A --- BK[] A --- BL[] A --- BM[] A --- BN[] A --- BO[] A --- BP[] A --- BQ[] A --- BR[] A --- BS[] A --- BT[] A --- BU[] A --- BV[] A --- BW[] A --- BX[] A --- BY[] A --- BZ[] A --- CA[] A --- CB[] A --- CC[] A --- CD[] A --- CE[] A --- CF[] A --- CG[] A --- CH[] A --- CI[] A --- CJ[] A --- CK[] A --- CL[] A --- CM[] A --- CN[] A --- CO[] A --- CP[] A --- CQ[] A --- CR[] A --- CS[] A --- CT[] A --- CU[] A --- CV[] A --- CW[] A --- CX[] A --- CY[] A --- CZ[] A --- DA[] A --- DB[] A --- DC[] A --- DD[] A --- DE[] A --- DF[] A --- DG[] A --- DH[] A --- DI[] A --- DJ[] A --- DK[] A --- DL[] A --- DM[] A --- DN[] A --- DO[] A --- DP[] A --- DQ[] A --- DR[] A --- DS[] A --- DT[] A --- DU[] A --- DV[] A --- DW[] A --- DX[] A --- DY[] A --- DZ[] A --- EA[] A --- EB[] A --- EC[] A --- ED[] A --- EE[] A --- EF[] A --- EG[] A --- EH[] A --- EI[] A --- EJ[] A --- EK[] A --- EL[] A --- EM[] A --- EN[] A --- EO[] A --- EP[] A --- EQ[] A --- ER[] A --- ES[] A --- ET[] A --- EU[] A --- EV[] A --- EW[] A --- EX[] A --- EY[] A --- EZ[] A --- FA[] A --- FB[] A --- FC[] A --- FD[] A --- FE[] A --- FF[] A --- FG[] A --- FH[] A --- FI[] A --- FJ[] A --- FK[] A --- FL[] A --- FM[] A --- FN[] A --- FO[] A --- FP[] A --- FQ[] A --- FR[] A --- FS[] A --- FT[] A --- FU[] A --- FV[] A --- FW[] A --- FX[] A --- FY[] A --- FZ[] A --- GA[] A --- GB[] A --- GC[] A --- GD[] A --- GE[] A --- GF[] A --- GG[] A --- GH[] A --- GI[] A --- GJ[] A --- GK[] A --- GL[] A --- GM[] A --- GN[] A --- GO[] A --- GP[] A --- GQ[] A --- GR[] A --- GS[] A --- GT[] A --- GU[] A --- GV[] A --- GW[] A --- GX[] A --- GY[] A --- GZ[] A --- HA[] A --- HB[] A --- HC[] A --- HD[] A --- HE[] A --- HF[] A --- HG[] A --- HH[] A --- HI[] A --- HJ[] A --- HK[] A --- HL[] A --- HM[] A --- HN[] A --- HO[] A --- HP[] A --- HQ[] A --- HR[] A --- HS[] A --- HT[] A --- HU[] A --- HV[] A --- HW[] A --- HX[] A --- HY[] A --- HZ[] A --- IA[] A --- IB[] A --- IC[] A --- ID[] A --- IE[] A --- IF[] A --- IG[] A --- IH[] A --- II[] A --- IJ[] A --- IK[] A --- IL[] A --- IM[] A --- IN[] A --- IO[] A --- IP[] A --- IQ[] A --- IR[] A --- IS[] A --- IT[] A --- IU[] A --- IV[] A --- IW[] A --- IX[] A --- IY[] A --- IZ[] A --- JA[] A --- JB[] A --- JC[] A --- JD[] A --- JE[] A --- JF[] A --- JG[] A --- JH[] A --- JI[] A --- JJ[] A --- JK[] A --- JL[] A --- JM[] A --- JN[] A --- JO[] A --- JP[] A --- JQ[] A --- JR[] A --- JS[] A --- JT[] A --- JU[] A --- JV[] A --- JW[] A --- JX[] A --- JY[] A --- JZ[] A --- KA[] A --- KB[] A --- KC[] A --- KD[] A --- KE[] A --- KF[] A --- KG[] A --- KH[] A --- KI[] A --- KJ[] A --- KK[] A --- KL[] A --- KM[] A --- KN[] A --- KO[] A --- KP[] A --- KQ[] A --- KR[] A --- KS[] A --- KT[] A --- KU[] A --- KV[] A --- KW[] A --- KX[] A --- KY[] A --- KZ[] A --- LA[] A --- LB[] A --- LC[] A --- LD[] A --- LE[] A --- LF[] A --- LG[] A --- LH[] A --- LI[] A --- LJ[] A --- LK[] A --- LL[] A --- LM[] A --- LN[] A --- LO[] A --- LP[] A --- LQ[] A --- LR[] A --- LS[] A --- LT[] A --- LU[] A --- LV[] A --- LW[] A --- LX[] A --- LY[] A --- LZ[] A --- MA[] A --- MB[] A --- MC[] A --- MD[] A --- ME[] A --- MF[] A --- MG[] A --- MH[] A --- MI[] A --- MJ[] A --- MK[] A --- ML[] A --- MM[] A --- MN[] A --- MO[] A --- MP[] A --- MQ[] A --- MR[] A --- MS[] A --- MT[] A --- MU[] A --- MV[] A --- MW[] A --- MX[] A --- MY[] A --- MZ[] A --- NA[] A --- NB[] A --- NC[] A --- ND[] A --- NE[] A --- NF[] A --- NG[] A --- NH[] A --- NI[] A --- NJ[] A --- NK[] A --- NL[] A --- NM[] A --- NN[] A --- NO[] A --- NP[] A --- NQ[] A --- NR[] A --- NS[] A --- NT[] A --- NU[] A --- NV[] A --- NW[] A --- NX[] A --- NY[] A --- NZ[] A --- OA[] A --- OB[] A --- OC[] A --- OD[] A --- OE[] A --- OF[] A --- OG[] A --- OH[] A --- OI[] A --- OJ[] A --- OK[] A --- OL[] A --- OM[] A --- ON[] A --- OO[] A --- OP[] A --- OQ[] A --- OR[] A --- OS[] A --- OT[] A --- OU[] A --- OV[] A --- OW[] A --- OX[] A --- OY[] A --- OZ[] A --- PA[] A --- PB[] A --- PC[] A --- PD[] A --- PE[] A --- PF[] A --- PG[] A --- PH[] A --- PI[] A --- PJ[] A --- PK[] A --- PL[] A --- PM[] A --- PN[] A --- PO[] A --- PP[] A --- PQ[] A --- PR[] A --- PS[] A --- PT[] A --- PU[] A --- PV[] A --- PW[] A --- PX[] A --- PY[] A --- PZ[] A --- QA[] A --- QB[] A --- QC[] A --- QD[] A --- QE[] A --- QF[] A --- QG[] A --- QH[] A --- QI[] A --- QJ[] A --- QK[] A --- QL[] A --- QM[] A --- QN[] A --- QO[] A --- QP[] A --- QQ[] A --- QR[] A --- QS[] A --- QT[] A --- QU[] A --- QV[] A --- QW[] A --- QX[] A --- QY[] A --- QZ[] A --- RA[] A --- RB[] A --- RC[] A --- RD[] A --- RE[] A --- RF[] A --- RG[] A --- RH[] A --- RI[] A --- RJ[] A --- RK[] A --- RL[] A --- RM[] A --- RN[] A --- RO[] A --- RP[] A --- RQ[] A --- RR[] A --- RS[] A --- RT[] A --- RU[] A --- RV[] A --- RW[] A --- RX[] A --- RY[] A --- RZ[] A --- SA[] A --- SB[] A --- SC[] A --- SD[] A --- SE[] A --- SF[] A --- SG[] A --- SH[] A --- SI[] A --- SJ[] A --- SK[] A --- SL[] A --- SM[] A --- SN[] A --- SO[] A --- SP[] A --- SQ[] A --- SR[] A --- SS[] A --- ST[] A --- SU[] A --- SV[] A --- SW[] A --- SX[] A --- SY[] A --- SZ[] A --- TA[] A --- TB[] A --- TC[] A --- TD[] A --- TE[] A --- TF[] A --- TG[] A --- TH[] A --- TI[] A --- TJ[] A --- TK[] A --- TL[] A --- TM[] A --- TN[] A --- TO[] A --- TP[] A --- TQ[] A --- TR[] A --- TS[] A --- TT[] A --- TU[] A --- TV[] A --- TW[] A --- TX[] A --- TY[] A --- TZ[] A --- UA[] A --- UB[] A --- UC[] A --- UD[] A --- UE[] A --- UF[] A --- UG[] A --- UH[] A --- UI[] A --- UJ[] A --- UK[] A --- UL[] A --- UM[] A --- UN[] A --- UO[] A --- UP[] A --- UQ[] A --- UR[] A --- US[] A --- UT[] A --- UY[] A --- UZ[] A --- VA[] A --- VB[] A --- VC[] A --- VD[] A --- VE[] A --- VF[] A --- VG[] A --- VH[] A --- VI[] A --- VJ[] A --- VK[] A --- VL[] A --- VM[] A --- VN[] A --- VO[] A --- VP[] A --- VQ[] A --- VR[] A --- VS[] A --- VT[] A --- VU[] A --- VV[] A --- VW[] A --- VX[] A --- VY[] A --- VZ[] A --- WA[] A --- WB[] A --- WC[] A --- WD[] A --- WE[] A --- WF[] A --- WG[] A --- WH[] A --- WI[] A --- WJ[] A --- WK[] A --- WL[] A --- WM[] A --- WN[] A --- WO[] A --- WP[] A --- WQ[] A --- WR[] A --- WS[] A --- WT[] A --- WU[] A --- WV[] A --- WW[] A --- WX[] A --- WY[] A --- WZ[] A --- XA[] A --- XB[] A --- XC[] A --- XD[] A --- XE[] A --- XF[] A --- XG[] A --- XH[] A --- XI[] A --- XJ[] A --- XK[] A --- XL[] A --- XM[] A --- XN[] A --- XO[] A --- XP[] A --- XQ[] A --- XR[] A --- XS[] A --- XT[] A --- XU[] A --- XV[] A --- XW[] A --- XX[] A --- XY[] A --- XZ[] A --- YA[] A --- YB[] A --- YC[] A --- YD[] A --- YE[] A --- YF[] A --- YG[] A --- YH[] A --- YI[] A --- YJ[] A --- YK[] A --- YL[] A --- YM[] A --- YN[] A --- YO[] A --- YP[] A --- YQ[] A --- YR[] A --- YS[] A --- YT[] A --- YU[] A --- YV[] A --- YW[] A --- YX[] A --- YY[] A --- YZ[] A --- ZA[] A --- ZB[] A --- ZC[] A --- ZD[] A --- ZE[] A --- ZF[] A --- ZG[] A --- ZH[] A --- ZI[] A --- ZJ[] A --- ZK[] A --- ZL[] A --- ZM[] A --- ZN[] A --- ZO[] A --- ZP[] A --- ZQ[] A --- ZR[] A --- ZS[] A --- ZT[] A --- ZU[] A --- ZV[] A --- ZW[] A --- ZX[] A --- ZY[] A --- ZZ[] </pre> </div>	<p>642年 高句麗・百済で政変(クーデターによる権力集中)</p> <p>↓</p> <p>高句麗・百済 VS 唐・新羅</p> <p>644年~唐が高句麗に侵攻(→東アジアの国際的緊張)</p> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> </div>
<p>645年 _____(摂津国)遷都</p> <p>★中国にならって、 _____ という元号を日本で初めて定める</p> <p>年 _____(4カ条から成る新政府の基本方針) in 『 _____ 』</p> <p>① _____(_____ の民・ _____ の民・ _____ の民)の廃止</p> <p>→上級豪族に _____、下級豪族に _____を支給</p> <p>② 地方行政区画の画定(国・評(郡)・里などの画定)</p> <p>③ _____の実施、 _____・ _____の作成</p> <p>④ 統一的新税制の確立(田の _____・戸別の _____などの徴収)</p> <p>647年 _____(_____ 国)設置</p> <p>648年 _____(_____ 国)設置</p> <p>★孝徳天皇と対立した中大兄皇子が飛鳥に戻る→翌年天皇死去</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>図解NOTE① [冊封体制と遣隋使の派遣]</p> <p>① _____(_____) (漢民族が持つ中国中心の優越思想)</p> <p>★漢民族…「 _____ 」・周辺異民族…「 _____ (_____) (_____)」</p> <p>② _____(中国と周辺諸国は宗主国と属国の君臣(主従)関係)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p style="text-align: center;"><冊封体制></p> <p style="text-align: center;">② 回賜(返礼) ← 隋(中国) → ① 周辺諸国の</p> <p style="text-align: center;">③ _____を受ける ②③ _____ ① _____王が朝貢し、</p> <p style="text-align: center;">→ 国王などの _____ 百済 新羅 高句麗 中国皇帝に臣</p> <p style="text-align: center;">称号を授かる _____ 下の礼をとる</p> </div> <p>③ 隋に高句麗・百済・新羅が朝貢(百済・新羅は服従)</p> </div>

(軽皇子)

[B] 律令国家の形成

国内情勢		対外関係
<p>(皇極天皇の)</p> <p>658年～_____の北方遠征(～660) _____(秋田・津軽方面の部族)・_____ (北海道南部の部族?)を平定 658年 _____(孝徳天皇の子)の謀叛(蘇我赤兄に謀られ挙兵を企てる) 661年 百済救援軍の派遣(朝鮮半島における倭国の優位性を復活させるため)← 中大兄皇子・斉明天皇は九州へ向かうが, _____で斉明天皇死去</p>		<p>_____年 _____滅亡(百済の都の_____城(_____)が陥落) 鬼室福信(百済の遺臣)が日本に救援を要請</p>
	<p>[国防強化]</p> <p>① _____(対外防衛のため九州北部に配備された兵) ② _____(煙火による緊急連絡手段のための施設) ③ _____(筑紫に設けられた全長約1kmの大堤) ④ 朝鮮式 _____(亡命百済人の技術で対馬から大和にかけて築城) ex. _____城(大宰府北方)・_____城(大宰府南方)・高安城(飛鳥)</p>	
<p>667年 _____(近江国)遷都(翌年, 近江大津宮で天智天皇が即位)←</p> <p>_____年 _____(_____に命じて編纂させた最初の法律?→存在自体の否定説もある)← ★中臣鎌足の死去(669)→死後, _____の位・_____の姓を賜る</p> <p>_____年 _____(氏族を正す根本台帳として永久保存とされた最初の全国的戸籍)←</p> <p>_____年 _____(天智天皇死去の翌年に起きた皇位継承争い) _____(天智天皇の弟) VS _____(天智天皇の子)</p>		<p>_____年 _____滅亡</p>
<p>(天海人皇子)</p> <p>672年 _____(大和国)遷都(翌年, 飛鳥浄御原宮で文武天皇が即位) _____年 _____編纂開始</p> <p>[_____ (天皇と皇族を中心とした政治形態)]</p> <p>① 天皇神格化(「大王」→「天皇」号の成立・「倭」→「日本」国号の使用) ② 部曲の廃止(675)(→豪族や寺院・神社の山林や原野を朝廷のものにする) ③ _____(_____年)(天皇を中心とした新しい身分秩序に豪族たちを編成) _____(皇親)・_____ (旧臣姓)・_____ (旧連姓)・_____・_____・_____・_____ ④ 国史の編纂(_____天皇が _____に『_____』、『_____』の詔書を命ずる) ⑤ _____(奈良県明日香村の _____遺跡から出土した日本最初の鑄造貨幣)</p>		<p>_____年の朝鮮半島統一 遣新羅使の派遣(新羅を介し唐文化を享受) → _____天皇時に遣唐使の派遣は無し</p>
<p>_____年 _____施行 _____年 _____(飛鳥浄御原令に基づいて作成された最初の班田台帳のための戸籍) _____年 _____(大和国)遷都(_____・_____・_____天皇の3代天皇が都とする) 大和三山(_____山・_____山・_____山)に囲まれた最初の本格的な _____制</p>		

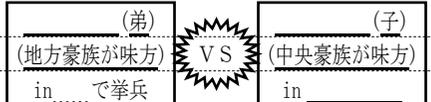
図解NOTE② [改新の詔]

[私地私民制] → [公地公民制]

大王(のちの天皇)
 直轄地= _____
 直轄民= _____・_____

豪族
 私用地= _____
 私民= _____

図解NOTE③ [壬申の乱]



- ①畿内の中央豪族が没落したことにより,
 大王と豪族の差が拡大し, 大王の権威が絶対化
 (1) 「大王」→「天皇」へ改称(→天皇神格化)
 (2) 天皇と皇族を中心とした政治= _____
 (3) 皇族を姓の最上位(_____)におく= _____
 ②天皇を中心とした中央集権化が達成される

[A] _____ (_____ の律令を模範としているが、日本の社会の実情に合わせて改められたところもある)

中央官制
から構成

① _____ 年(_____ (総裁)・ _____ (副総裁) が編纂
② _____ 年(_____ が編纂 → _____ 年(_____ が施行

[重要政務は太政官の _____ の合議で決定]

(祭祀)

(行政)

大納言

★

(役人の不正の監察・風俗の肅正)
(京内・宮中の警護 → _____ ・ _____ ・ _____ の5つ)

- 省 (詔勅の作成・天皇側近事務)
- 省 (戸籍・租税など民政一般)
- 省 (文官の人事・ _____ の管理)
- 省 (外交事務・仏事・姓氏関係)
- 兵部省 (軍事一般・武官の人事)
- 刑部省 (裁判・刑の執行)
- 大蔵省 (財政の管理・貨幣)
- 宮内省 (宮中の一般事務)

図解 NOTE [_____]



① _____ (中央と地方の国を結ぶ交通制度)
中央-地方を結ぶ官道(_____)に _____ という施設を約 _____ kmごとに置き、そこに用意してある _____ を公用の役人のみが使用する制度 → 証として _____ を _____ が交付する

② _____ (地方の郡と郡を結ぶ交通制度)
郡衙に置かれた _____ を公用旅行者が使用

地方官制

① 全国を畿内(五畿)七道に大別 (諸国を大國・上國・中國・下國の四等級に分ける)
 畿内 = _____ 国 (平安京遷都以前は _____ 国・ _____ 国・ _____ 国・ _____ 国・ _____ 国)
 七道 = _____ 道・ _____ 道・ _____ 道・ _____ 道・ _____ 道・ _____ 道・ _____ 道

② _____ = _____ 関 (東山道の美濃国)・ _____ 関 (東海道の伊勢国)・ _____ 関 (北陸道の越前国)

③ 要地 京 = _____ (左京・右京の民政一般 → 東・西市を管理する _____ を指揮下におく)
 難波 = _____ (摂津国の民政 → 国内物資の集散地・遣唐使の発船など重要な _____ を管理)
 筑紫 = _____ (「遠の朝廷」と呼ばれ、外交・国防上重要な西海道(九州)諸国を統治)

④ 国内を三階(国・郡・里)に区画
 _____ = _____ (国司を通じて中央集権的な地方支配を表現するため、中央の貴族から任命し派遣)
 任期 = _____ 年 → _____ 年 (地方の実情に精通していない)・国司の役所 = _____ (_____)
 _____ = _____ (地方の実情に精通し在地における伝統的な支配力をもつ、旧国造など地方豪族から任命)
 任期 = _____ (農民との結びつきが強い)・郡司の役所 = _____ (_____)
 ★ 郡評論争 (_____ が施行される 701 年以前は郡ではなく _____)
 → _____ 出土の _____ 「己亥年(699 年) 上総国阿波」などで明らかになる

_____ = _____ (_____ 戸を 1 里とする → 717 年以降、里を _____ と改称し、里長も郷長となる)
 [_____ (717 年~740 年頃、里を郷と改称し、郷の下に 2~3 里を置く)]
 戸 = 戸主 _____ (郷里制施行に伴い編成された行政組織の最末端の戸)
 (郷戸) _____ (郷里制施行に伴い、郷戸の下に新設された生活単位)

[四等官制 (各官吏に四等級を置く)]

官職	_____	_____	_____	_____
国司	_____	_____	_____	_____
郡司	_____	_____	_____	_____
八省	卿	輔	丞	録
神祇官	伯	副	祐	史
大宰府	帥	式	監	典

貴族の特権

① _____ (父祖の位階に応じて、子孫は _____ 歳になれば自動的に一定の位階を得られる制度)
 → _____ 以上(公卿)は子と孫、 _____ 以上(貴族)は子が適用を受けられる

② 官吏(官人)の給与 (特に五位以上に支給される)

(1) 田地 = _____ (位階に応じて支給される田地)・ _____ (官職に応じて支給される田地)
 ★ _____ (功績に応じて支給される田地)・ _____ (天皇の命で特別に支給される田地)

(2) 封禄 = _____ (位階に応じて支給される封戸)・ _____ (官職に応じて支給される封戸)
 ★ _____ (四位・五位に支給される布・綿・纒) cf. 位封は三位以上に支給
 ★ _____ (全官人に春秋の年 2 季に支給される布・綿・纒)

(3) 供人 = _____ (五位以上に対して位階・官職に応じて支給される従者)

③ 税の免除 (唐・調・雑徭などの負担は免除)

④ 刑法上の減刑措置 (重罪でない限り実刑を受けず、免職や罰金で済む特権)

(1) 五刑(_____ [むちで打つ]・ _____ [つえで打つ]・ _____ [懲役]・ _____)
 (2) _____ (天皇に対する謀叛・尊属に対する不孝などの重罪)

[_____]

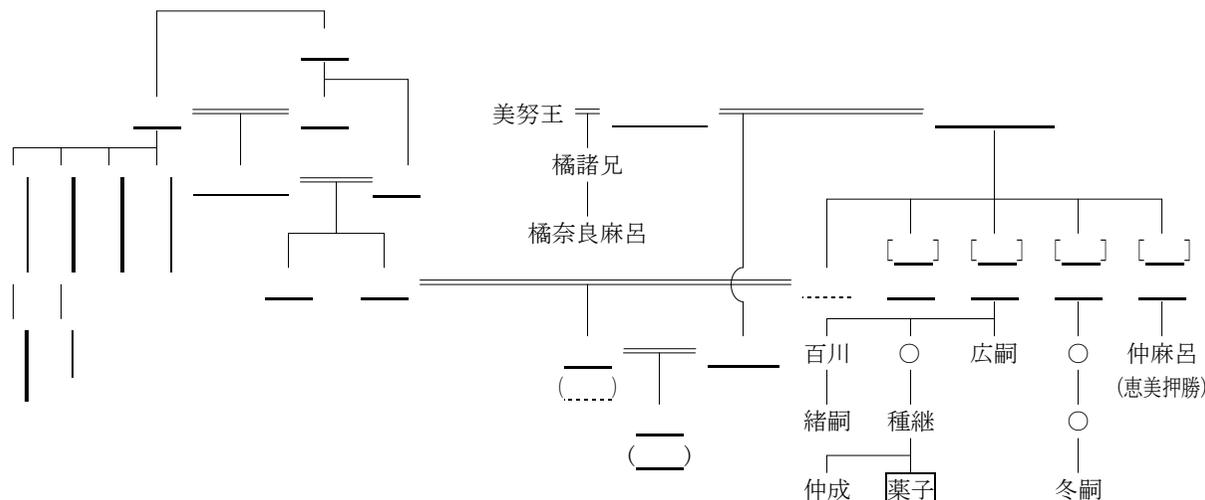
官吏には一位から初位までの _____ が与えられそれぞれの位階に応じた官職に任命される制度

位階 (合計 _____ 階)	官職
正(從)一位	→ 太政大臣に任命
正(從)二位	→ 左・右大臣に任命
正(從)三位	→ 大納言などに任命
正(從)四位上下	→ 参議などに任命
正(從)五位上下	→ 少納言などに任命
正(從)六位上下	→ 大國介などに任命
正(從)七位上下	→ 大國掾などに任命
正(從)八位上下	→ 大國目などに任命
大(小)初位上下	→ 中國目などに任命

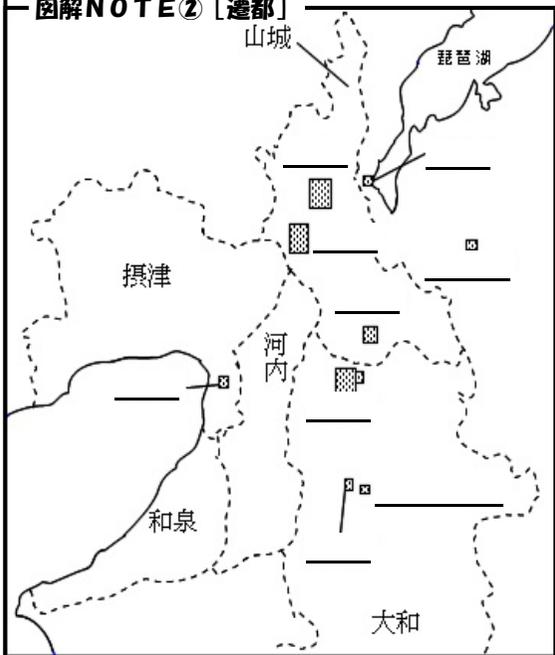
[A] 平城京の時代

政権担当者	政治・政争	土地政策
<p>_____の子 (_____)の姓を賜る 死の際に_____と の姓を賜る</p>	<p>_____年 _____ (日本最初の律令→現存せず) →編纂 = _____ (総裁)・_____ (副総裁)</p> <p>_____年 _____ 铸造 (_____) 国からの銅の献上が契機→_____と改元 唐の _____ にならい, _____ が铸造 (銀銭・銅銭の両銭あり) ★ _____ の最初 (律令国家が铸造した12種の銅銭の総称) cf. 皇(本)朝十二銭の最後 = _____ (_____ 天皇時の _____ 年に铸造)</p> <p>_____年 _____ 遷都 (唐の _____ にならった本格的都城)</p> <p>_____年 _____ (錢貨の流通を促進するための法令) but 京・畿内を中心とする地域以外はあまり流通しなかった →地方では米や布などが貨幣の代わりに用いられていた</p>	<p>708年 _____ (現在の山形県) 設置 → _____ 城に移築(733)</p> <p>712年 _____ 国 (越後・陸奥国を割いて設置)</p>
<p>720◎</p> <p>[右大臣→_____]</p>	<p>_____年 _____ 制定 (→現存せず) →編纂 = _____ but 大宝律令と内容的に大きな変化はなく, この当時は施行されず</p>	<p>713年 _____ 国 (日向国を割いて設置) のち, _____ 島・ _____ 島も朝廷に帰属</p> <p>720年 _____ (九州南部の人々) の反乱 → _____ が鎮圧</p> <p>_____年 _____ ↓ _____年 _____ 東北地方の開墾計画→成果なし</p>
<p>729◎</p> <p>藤原四子 737◎(天然痘)</p>	<p>_____年 _____ 天皇が即位 (皇太子時代に入内した光明子が夫人)</p> <p>_____年 _____ (謀反の疑いで自殺させられる) 事件後, _____ が人臣で初の _____ となる ★近年, 平城京の長屋王邸宅跡から大量の _____ が発見される</p>	<p>★養老7年の格と呼ばれる ①新たに開墾した土地(墾田)の3世代までの所有を認める ②旧来の灌漑施設を利用して開墾した場合は本人一代限りの所有</p>
<p>_____ (皇族出身) [補佐(もと遣唐使)] (僧侶) _____ (豪族)</p> <p>(藤原仲麻呂の台頭)</p>	<p>_____年 _____ (家: _____ の子) _____・ _____ の排除を求め _____ [_____] が _____ で反乱</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="301 1004 521 1197"> <p>[遷都]</p> <p>① _____ (_____ 国) ★紫香樂宮離宮(742)</p> <p>② _____ (_____ 国)</p> <p>③ _____ (_____ 国)</p> </div> <div data-bbox="521 1004 926 1197"> <p>_____年 _____ in _____ _____年 _____ in _____ (大仏の正式名称) ★ _____ による _____ (のち _____)</p> </div> </div> <p>745年 _____ の左遷 to _____ 国 (天下三戒壇の一つ)</p>	<p>_____年 _____</p> <p>★天平15年の格と呼ばれる ①開墾地の永代私有を認める ②身分により開墾できる面積を制限 ③開墾は国司への申請が必要 ④申請後3年以内に着手</p>
<p>_____ (家: _____ の子) _____ (_____ 長官)</p>	<p>750年 _____ の左遷</p> <p>_____年 _____ 大仏開眼供養 (←749年, _____ 国から金が献上され完成) ★聖武太上天皇・光明皇太后・孝謙天皇など1万人が参列する盛儀 (藤原仲麻呂の打倒をはかるが逆に滅ぼされる)</p> <p>_____年 _____ 施行</p>	<p>★貴族・寺社・地方豪族が大規模に墾田を開墾</p> <p>[_____ (_____)]</p> <p>①形態 = _____ (自ら未開地を開墾) _____ (他の開墾地を買収)</p> <p>②経営 = _____ (1年間の契約で土地を賃貸) →収穫の _____ 分の1を _____ として徴収</p> <p>③特徴 = 専属農民の不在 (労働力は依存)</p>
<p>_____ (_____) 764◎</p>	<p>760年 _____ の死去</p> <p>_____年 _____ (道鏡排除を計画するが先制され滅ぼされる) 事件後, 淳仁天皇は _____ に配流される (淡路廃帝)</p>	<p>④例 = _____ 国 _____ 荘 (_____ 領)</p>
<p>_____ (_____) [_____ (765)] [→ _____ (766)]</p>	<p>_____年 _____ (道鏡が皇位をねらうが失敗) → _____ ・ _____ (法均尼) を配流</p> <p>770年 _____ 道鏡の左遷 to _____ 国 (天下三戒壇の一つ)</p>	<p>_____年 _____ 以外の開墾を禁止</p>
<p>_____ (家: _____ の子)</p>	<p>770年 _____ 天皇 (_____ 天皇の孫) 即位 _____ (家: _____ の子)・ _____ (北家: 房前の子) が擁立</p>	<p>_____年 _____ 加墾禁止令の停止 開墾制限を撤廃</p>

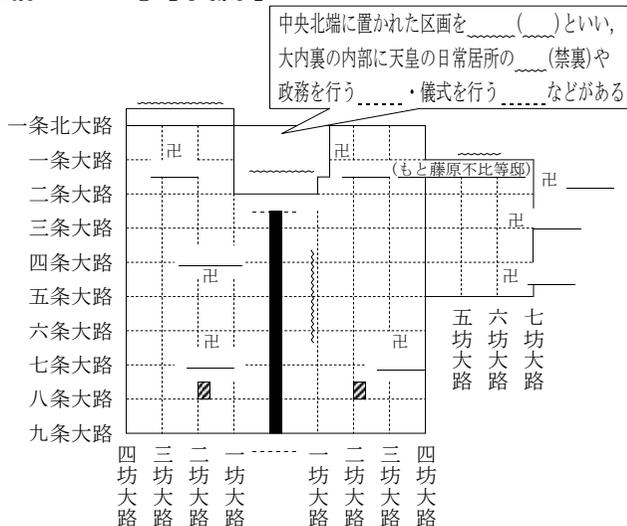
図解NOTE① [天皇・藤原氏系図]



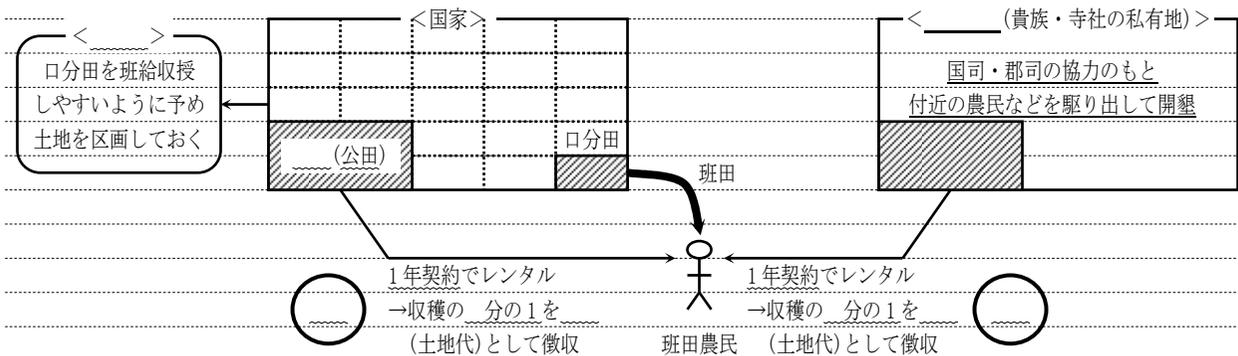
図解NOTE② [遷都]



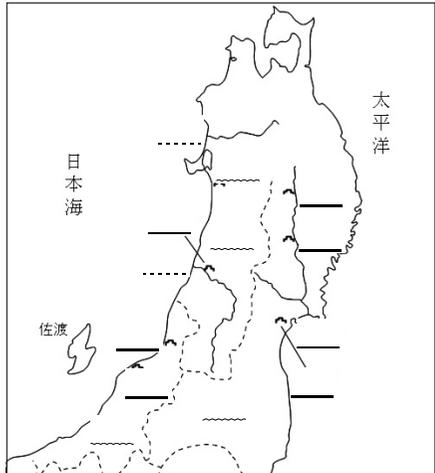
図解NOTE③ [平城京]



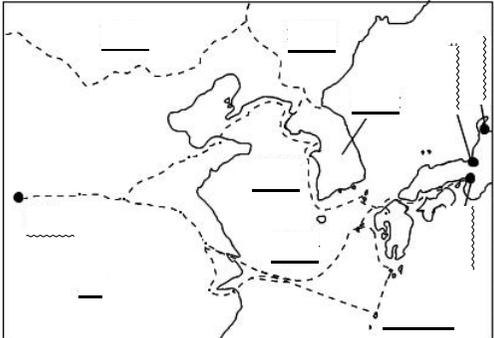
[NOTE]



[A] 平安京の政治(律令制の再編)

政治・政争		蝦夷征討	
天皇の子	<p>781年 天皇即位(行財政の簡素化や公民の負担軽減など政治再建につとめる)</p> <p>年 (国) 遷都(目的=仏教政治の弊害を絶つ・水陸交通の便がよい)</p> <p>785年 暗殺事件(造長岡宮使の [家:] の孫) が暗殺される (桓武天皇の弟) に容疑がかかり、皇太子を廃される</p> <p>年 (国) 遷都(建議=) ★ 国を 国と改称</p> <p>[延暦の治(桓武天皇の親政)]</p> <p>① の制(年)(東北・九州など辺境の要地を除いた 制を廃止) の子弟を中心に に採用し、国府・兵庫・鈴藏などの警備にあたる</p> <p>② (日間→ 日間に軽減)</p> <p>③ (割→ 割に利息を軽減)</p> <p>律令制の再編</p> <p>①班田制(班田收授を 年1班→ 年1班に改める)</p> <p>② (国司交替時に事務引継ぎの不正を検査する) (後任国司が前任国司に発行する事務引継ぎ完了の証明書)を検査</p>	<p>(780年 の乱(天皇時)) 紀広純[陸奥按察使]を殺害し 城を焼き払う →以後、東北地方では30年余り戦乱状態が続く</p> <p>789年 [征東大使]の蝦夷征討</p> <p>797年 []の蝦夷征討 渡来系氏族(氏の子孫)で 創建? → [蝦夷の族長]らを降伏させる(801)</p> <p>年 が 城を築城 ↓ 年 を 城から 城に移転 ↓ 年 が 城を築城</p> <p>年 (二大政策(軍事・造作)に関する論争) → (中止派) VS (継続派)</p>	
	<p>806年 天皇即位(官司の削減・冗官の整理など官制改革, 地方官対策を行う) [家:]の子を寵愛・ [葉子の兄]を重用</p> <p>年 () (家没落・家台頭の契機となる) [藤原式家]が 太上天皇(上皇)の重祚を企てるが失敗</p> <p>809年, 病気のため 天皇に譲位した 上皇は, 寵愛した や をはじめとする多数の官人らを伴い平城宮に移った。天皇は 年上皇と葉子らの行動を抑えるため, に と を任命。これにより対立し, 平城上皇が平城旧京への遷都を命じると, 嵯峨天皇は迅速に兵を出して勝利。上皇は出家, 葉子は自殺。仲成は射殺された。</p> <p>[弘仁の治(嵯峨天皇の親政)]</p> <p>① (天皇の側近として, 天皇の機密文書を扱う機関) → (蔵人所の長官) = [藤原北家]・</p> <p>② (京都の治安維持・訴訟にあたる機関) のち, 衛門府の警察権・彈正台の糾弾権・京職の裁判権を吸収し, 権限を拡大</p> <p>①格式(→行政を担う貴族・官人はこれらの行政能力の習得が必要になる) ↓ (律令の条文を補足・修正した太政官符や詔勅) ↓ (律・令・格の施行細則)</p> <p>②三代格式の編集 『 』(天皇の命で が編纂(年)) 『 』(天皇の命で藤原氏宗らが編纂) 『 』(天皇の命で藤原時平らが編纂→ (年)は完備現存) ★『 』(三代格を神祇・仏事など項目別に11世紀に分類・編集)</p> <p>③法典注釈書(養老令の様々な条文の解釈・学説をまとめたもの) 『 』(が833年に編纂した養老令の官撰注釈書) ★『令義解』から養老令の大部分が復元できる 『 』(が868年頃に編纂した養老令の私撰注釈書) ★『令集解』から養老令の大部分・大宝令の一部が復元できる</p>		<p>年 [征夷将軍]の蝦夷征討 最後の蝦夷征討となる</p> <p>[蝦夷経営]</p> <p>(律令国家に服属した蝦夷に対する呼称) (東国から移住させた開拓と防衛にあたる人々)</p> <p>(878年 (出羽国の俘囚が秋田城を焼打ち))</p> <p>(百济系渡来人の子孫)</p> <p>淳和</p> 
桓武天皇の子	<p>淳和</p>		

[B] 東アジアとの外交

中 国 関 係	朝 鮮 関 係
<p>年 〃の建国 (隋を滅ぼし、都を〃におく)</p> <p>年 最初の遣唐使 (皇帝に臣下の礼をとる朝貢形式)</p> <p>→ 〃を派遣 (614年に第4回遣隋使としても渡航)</p> <p>目的=①唐の先進的な文物・制度の輸入・②日本の国際的地位の向上</p> <p>ex. 唐の朝貢に際する新羅との席次争いで大伴古麻呂が抗議(753)</p>	<p>年 〃の滅亡 (〃・〃の連合軍が滅ぼす)</p> <p>年 〃 (〃・〃の連合軍に大敗)</p> <p>年 〃の滅亡 (唐・新羅の連合軍が滅ぼす)</p> <p>668年 新羅使の来日 (新羅は朝貢形式で日本と通交を結ぶ)</p> <p>遣新羅使の派遣 (天武・持統朝に遣唐使の派遣はなし)</p> <p>年 〃の朝鮮半島統一 (唐の勢力を追い出す)</p> <p>〃のち、新羅が対等な立場を主張したため緊張関係</p>
<p>8世紀 遣唐使の航路変更 (〃との関係悪化が背景)</p> <p>〃 → 〃 → 〃 (東シナ海を横断する危険な航路)</p> <p>[遣唐使 (隻→隻500名「よつふね」・19回任命→15回渡航)]</p> <p>年 〃……遣唐大使として入唐 (大宝律令の編纂に参加)</p> <p>〃……遣唐少録として入唐 (歌人として『〃』が代表)</p> <p>717年 〃……遣唐副使として入唐 (藤原不比等の子で式家の祖)</p> <p>〃……帰国して橘諸兄政権を補佐した僧侶→筑紫観世音寺に左遷</p> <p>〃……帰国して橘諸兄政権を補佐した地方豪族→のち右大臣となる</p> <p>〃……唐朝に仕えるが、帰国できず唐で客死 (唐名=〃)</p> <p>★ 〃皇帝に重用され、李白・王維らの文人と交際</p> <p>〃……帰国できず唐で客死 (中国の西安で墓誌が発見される)</p> <p>752年 〃……帰国できず唐で客死 (藤原原前の子で遣唐大使として入唐)</p>	 <p>698年 〃の建国 (沿海州の〃族と高句麗遺民が建国)</p> <p>唐・新羅との対抗関係から日本に通交を求める</p> <p>年 渤海使の来日 (渤海が日本に派遣した外交使節)</p> <p>日本からも遣渤海使を派遣するなど交易を行う</p> <p>★渤海の宮都跡から〃が発見されている</p> <p>[渤海使滞在施設]</p> <p>(〃国 〃津におかれた渤海使滞在施設)</p> <p>(〃国福浦津におかれた渤海使滞在施設)</p> <p>年 〃の滅亡 (〃族に滅ぼされる→のち〃を建国)</p> <p>★のち、遼も〃族に滅ぼされる→のち〃を建国</p> <p>935年 〃の滅亡→〃の建国(918)</p>
<p>804年 平安最初の遣唐使 (〃・〃・〃らが渡航)</p> <p>年 実質最後の遣唐使 (藤原常嗣・円仁らが渡航)</p> <p>〃 (遣唐副使となるが、乗船を拒否したため〃に配流)</p> <p>〃 『〃』 (円仁の渡航日記)</p> <p>年 〃 (〃) の建議で遣唐使廃止 (〃天皇時)</p> <p>廃止理由…①唐の衰退 ex. 〃 (〃) (755)</p> <p>②航路の危険性・③新羅の海賊の活動・④派遣費用調達の高難</p> <p>⑤唐の民間商人の頻繁な来航 (公的な交渉を続ける必要がない)</p> <p>廃止後…①日本人の海外渡航は原則として禁止 (僧侶の渡航は許可制)</p> <p>ex. 〃 (983年に入宋した東大寺僧→宋版大蔵経・釈迦像を持ち帰る)</p> <p>寂照 (1003年に入宋した天台宗僧→天台宗疑問の答釈を得るが客死)</p> <p>〃 (1072年に入宋した天台宗僧→多くの経典を日本に送るが客死)</p> <p>②唐・新羅の民間商船が〃に来航 (遣唐使廃止後も中国の文物は流入)</p> <p>★ 〃 (平安京・大宰府(博多津)に設けられた外国使節の迎接施設)</p> <p>年 〃滅亡→〃(〃)建国(〃年)</p>	

[NOTE]

[A] 他氏排斥

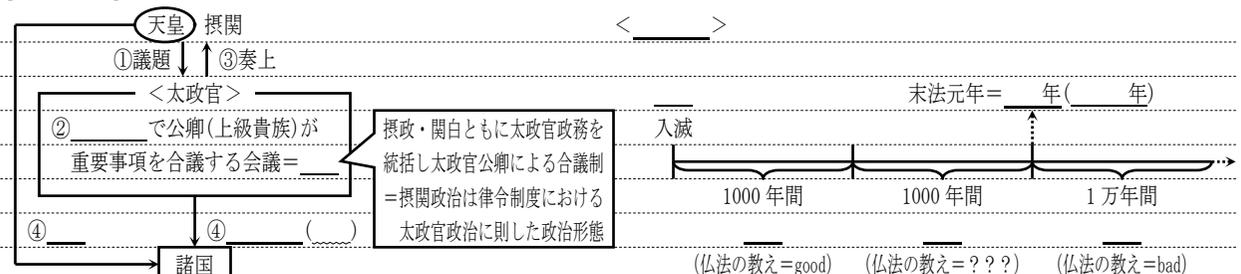
政権担当者	政治・政争	図解NOTE [外戚]
<p>(冬嗣の子)</p>	<p>年 _____ (伴健岑・橘逸勢が恒貞親王を奉じて謀反を計画?) → _____ (隠岐配流)・ _____ (伊豆配流) _____ (廃太子)・ _____ (皇太子)</p>	<p>① _____ (別居で夫が妻の家に通う婚姻形態) ② _____ (夫が妻の実家に住む婚姻形態) (_____)</p>
<p>872◎</p>	<p>850年 _____ 天皇即位 → 良房=人臣初の _____ (857) ↓ _____ 年 _____ 天皇即位 → 良房=事実上の _____ (_____年) ↓ _____ 年 _____ 天皇即位 → 良房=正式に _____ 任命(_____年) (平安京 _____ の正門である応天門が炎上) 容疑者= _____ [左大臣] → 真犯人= _____ [_____] → _____ (_____配流)・ _____ (関連して配流) ★『 _____ 』(応天門の変を題材にした絵巻物)</p>	<p>③ _____ (妻が夫の実家に住む婚姻形態) ① 摂関の地位 _____ (天皇が幼少の期間に政務を代行する) _____ (天皇の成人後に、後見役をつとめる) ② 摂関の権限 (役人の任免権を持つ) _____ (位階の授与)・ _____ (官職の任命)</p>
<p>(良房の養子)</p>	<p>876年 _____ 天皇即位 (のち、殿上で殺人事件を起こし退位させられる)</p>	
<p>891◎ (基経の子)</p>	<p>884年 _____ 天皇即位 → 基経=事実上の _____ ↓ _____ 年 _____ 天皇即位 → 基経=正式に _____ _____ 年 _____ (_____)(~888) 基経を関白に任じた際の詔勅の中の「阿衡」の語句に基経が抗議 → 天皇は起草者の _____ を処罰し、訂正した詔勅を發して解決 [_____ (宇多天皇の親政)] ① 基経死後、宇多天皇は摂政・関白を置かず ② _____ (宮中の警備にあたる武者) を設置 ③ _____ [_____] を登用 (もと漢詩文・歴史を教える _____) → 遣唐使廃止(_____年) by _____ [_____] ★『 _____ 』(道真の漢詩文集)・『 _____ 』(六国史を部門別に分類) ④ 『 _____ 』(宇多天皇が讓位に際、醍醐天皇に与えた訓戒書)</p>	<p>_____年の道真の死後に天災が相次ぎ、怨霊による祟りと畏怖されたため、天神として祀る _____ を京都に建立 → のち霊を祀る祭礼として祇園社と並ぶ _____ も開催 ★『 _____ 』(道真の生涯を描いた絵巻物)</p>
<p>_____</p>	<p>899年 _____ [_____]・ _____ [_____] _____ 年 _____ (_____ [左大臣] が _____ [右大臣] を讒言) → 醍醐天皇が _____ を _____ に左遷 [_____] _____ 年 _____ (_____ の設置を禁止) 最後の班田収授 (班田収授法が廃絶) _____ 年 _____ 「 _____ 」 ★日本三代実録(901)・古今和歌集(905)・延喜式(927)</p>	<p>[_____ の乱 (935~941)] ① _____ の乱 (_____ の孫) in 『 _____ 』 _____ 国 (千葉県) _____ を拠点とする _____ の反乱 ★叔父の _____ を殺害(935), その後の _____ 年に _____ 国府を攻略し、自ら _____ と称す → _____ (国香の子)・ _____ [下野押領使] が鎮圧 ② _____ の乱 (もと _____) _____ 国 (愛媛県) _____ を拠点とする _____ の反乱 ★瀬戸内海の高僧を率い _____ を焼き打ち(939) → _____ (清和源氏の祖)・ _____ (追捕使) が鎮圧</p>
<p>(基経の子)</p>	<p>930年 _____ 天皇即位 (幼少のため _____ [摂政・関白] が補佐) 935年~ _____ の乱 (平将門の乱・藤原純友の乱の総称) _____ 年 _____ 铸造 (皇朝十二銭の最後)</p>	
<p>(忠平の子)</p>	<p>_____ 年 _____ (源満仲が源高明の娘婿が平親王擁立の陰謀計画?を密告) _____ (_____ 国 _____ 荘に土着=多田源氏) の密告 → _____ (醍醐天皇皇子) [_____] を _____ に左遷 ★『 _____ 』(朝廷の儀式や年中行事を記した源高明の有職書) → ★藤原北家の政治的地位は安定し、摂政・関白が常置されるようになった</p>	

[B] 撰閣政治の確立 (天皇に娘を入内させ、天皇家の外戚として天皇を後見し、実権を掌握する政治形態)

政権担当者		政治・政争	その他
円融・花山	藤原兼通 ↓ 藤原兼家 ↓ 藤原道隆 ↓ 藤原道兼	<p>「_____」をめぐる藤原氏内部の争い</p> <ul style="list-style-type: none"> ★氏長者は_____ (藤原氏の氏長者が代々所有する所領) を継承 ★重要政務は_____ (_____ における太政官の会議) を参考に決裁 <p>① _____ (弟) VS _____ (兄) 関白兼通没後、兼家が摂政・関白となる</p> <p>② _____ (兄) VS _____ (弟) 道隆・道兼ともに流行り病で死亡→道長 VS 伊周へ</p> <p>③ _____ (叔父) VS _____ (甥) 勝利した道長は_____ (関白に准じる役職) に就任(995) →敗れた_____ (兄)・_____ (弟)は大宰府へ左遷 [大宰権帥]</p>	<p>忠平</p> <p>実頼 師輔</p> <p>兼通 兼家</p> <p>道隆 道兼 道長</p> <p>伊周 隆家</p> <p>頼通</p> <p>女</p>
	(御堂関白)	<p>1016年 _____ に就任</p> <p>_____ 年 _____ に就任 ★『_____』 (藤原道長の日記)</p> <p>_____ 年 _____ が _____ 天皇の中宮に入内</p> <p>道長が「望月の歌」を詠む in 『_____』 (_____ の日記)</p> <p>→出家後に _____ (阿弥陀堂建築) を建立(1020)</p>	
(宇治殿)	<p>★約50年間、摂政・関白をつとめる (後一条・後朱雀・後冷泉天皇時)</p> <p>_____ 年 _____ (沿海州の _____ 族(刀伊)が北九州に襲来)</p> <p>→ _____ (_____) が撃退</p> <p>_____ 年 _____ (阿弥陀堂建築) を宇治に建立</p> <p>1068年 _____ 天皇 (藤原氏を外戚としない天皇) が即位</p>		

政変	概	要
_____ (_____ 年)	_____ 年, 上皇が没した混乱に乗じ, 皇太子 _____ の側近である _____ と _____ が皇太子を奉じて東国に赴き, 反乱を企てたと阿保親王(在原業平の父)が密告。首謀者として _____ は隠岐に, _____ が伊豆に配流された。_____ は皇太子を廃され, 藤原良房の甥で仁明天皇の子 _____ (_____ 天皇) が皇太子となった。伴健岑・橘逸勢らは冤罪の可能性がきわめて高く, 権力の確立を図った _____ の陰謀と推定される。	
_____ (_____ 年)	_____ 年, 平安京 _____ の正門である _____ が炎上。はじめ左大臣 _____ に放火の疑いがかかったが, 大宅鷹取という人物が犯人として _____ を告発。善男は尋問に対して強く否認したが, 鷹取の女を殺し鷹取を傷つけた事件で調べられた善男の従者 2名が善男が源信を失脚させるために子の中庸に命じて放火させたと自白。_____ ・ _____ 父子を _____ に, _____ ・ _____ にも関連して流罪となった。事件の真相は不明だが, 事件の処理にあたった太政大臣 _____ は, 事件後 _____ に任せられ, 伴善男・紀夏井ら有能な官人を排斥することに成功した。	
_____ (_____ 年)	_____ 年に即位した _____ 天皇は, _____ に関白の詔を出した。基経は当時の慣例に従い辞退したが, _____ が起草した詔書に「 _____ の任」につけるとあった。基経は「阿衡」は位のみで職掌がないとして以後出仕するのをやめ, 天皇の信任の厚かった橘広相の断罪を図った。翌年に宇多天皇は勅書の非を認め, _____ を罰して収拾した。天皇との外戚関係がなかった基経には, 関白としての政治的立場を確認する狙いがあった。	
_____ (_____ 年)	左大臣藤原時平と右大臣菅原道真, 政治を主導する宇多上皇と醍醐天皇には確執があった。_____ 年, 宇多上皇が菅原道真の娘婿の齊世親王擁立の陰謀計画があると _____ が _____ 天皇に讒言。宇多上皇や菅原道真の政治手法に不満を抱いていた醍醐天皇は, _____ を _____ に左遷した。	
_____ (_____ 年)	_____ 年, 病弱の冷泉天皇譲位後の問題に不安を抱いていた藤原氏が, 策略によって _____ (_____ 天皇の皇子) を失脚させ, _____ に左遷した事件。源高明が娘婿で皇位継承資格のある為平親王(村上天皇の皇子)擁立の陰謀計画があると _____ が密告。満仲は密告の功で昇進した。	

[NOTE]

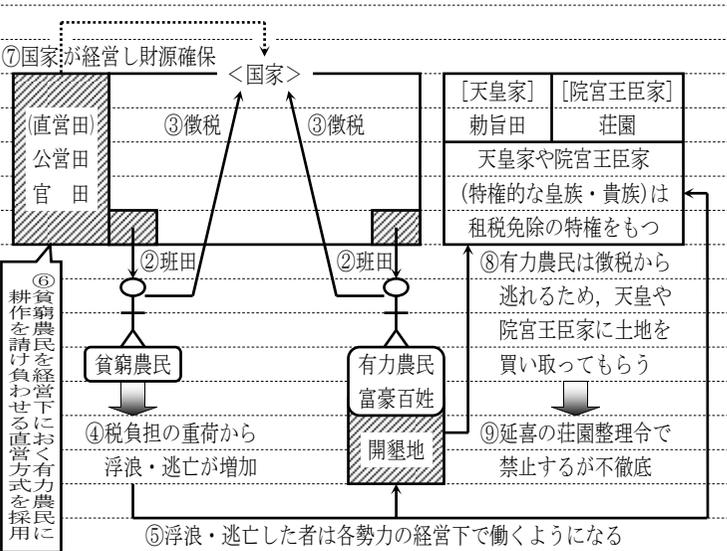


[A] 律令体制の崩壊(9世紀)と負名体制(10世紀)

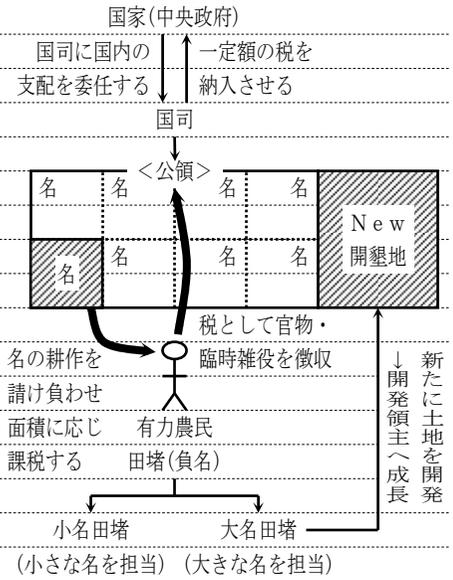
8~9世紀 = 律令国家 (課税単位 = 税)	10世紀 = 王朝国家 (課税単位 = 税)
<p>① 租税負担の重荷 (調・庸・雑徭・兵役などの負担が農民の生活を圧迫) ex. 『<u> </u>』、『<u> </u>』に収録</p> <p>② 徴税逃れ (有力農民と貧窮農民に階層が分化→課税逃れが相次ぐ) <u> </u> (本籍地を離れ、他国に浮浪する→所在明確で調・庸を納める) <u> </u> (本籍地を離れ、他国に浮浪する→行先不明で調・庸を納めない) <u> </u> (女性などに年齢や性別を偽る) ex. <u> </u>国 <u> </u>郷の戸籍(902) <u> </u> (朝廷の許可なく僧侶になる) <u> </u> (貴族の従者となる)</p> <p>③ 朝廷の財政難 (浮浪・逃亡・偽籍などにより調・庸などの人頭税が減収)</p> <p>④ 律令体制の再編 (<u> </u>天皇時) (農民負担の軽減をはかる) (1) 班田収授 (班田収授を <u> </u>年 <u> </u>班 → <u> </u>年 <u> </u>班に改める) (2) <u> </u> (政府が貸し付ける種籾の利息を利率 <u> </u>割 → <u> </u>割に軽減) (3) <u> </u> (国司に使役される労役を年間 <u> </u>日間 → <u> </u>日間に軽減) (4) <u> </u>の制 (東北・九州を除く正丁男子を徴兵する <u> </u>兵士制を廃止)</p> <p>⑤ 直営田の設置 (国家財政を補うため、有力農民を利用した直営方式を採用) <u> </u> (<u> </u>年) (<u> </u>の建議で大宰府管内に設置された直営田) <u> </u> (879) (中央官司の財源確保のため畿内に設置された直営田)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">[私的大土地所有の確立]</p> <p><u> </u> (天皇)・賜田 (皇族)・諸司田 (諸官司) 院宮王臣家(権門勢家)の荘園 (少数の皇族・上級貴族) ★新たに台頭した有力農民らと結びつき、私的に多くの土地を集積</p> </div> <p>⑥ 律令体制の崩壊 (<u> </u>天皇時) (律令体制の復興をめざす) <u> </u>年 <u> </u> (最初の荘園整理令) <u> </u>・院宮王臣家の荘園を禁止するが、<u> </u>不徹底に終わる → 券契(証拠文書)明らかな荘園を認め、国司に実施を任せさせたため <u> </u>年 最後の班田収授 ★阿波国田上郷の戸籍(902) <u> </u>年 「<u> </u>」 by <u> </u> 地方政治の混乱ぶりを醍醐天皇に指摘した報告書</p>	<p>① <u> </u> (土地税に基づく徴収制度) ★為政者 = <u> </u> (<u> </u>天皇時) (1) 口分田などの公領を収公 (班田収授を廃止) (2) 公領を <u> </u>(<u> </u>) という課税単位に編成する (3) <u> </u>(<u> </u>) (有力農民) に一定期間、田地の耕作を請け負わせ、名(名田)の面積に応じて課税する → <u> </u> (租・調・庸の系譜)・<u> </u> (雑徭の系譜) を徴収</p> <p>② 地方政治の転換 (律令体制の崩壊に伴い、国司の権限を強化) 国司に一定額の税の納入を請け負わせ、その代わりに一国内の統治を委ねる (1) 国司は中央政府に対する徴税請負人的な性格を強める → 以降、地方政治の運営における <u> </u>(<u> </u>) (<u> </u>の政庁) の役割が増大 ★今まで地方政治を担っていた <u> </u>(<u> </u>) (<u> </u>の政庁) の役割は衰退</p> <p>(2) 国司は租税の課税率を決める権利を認められ、一定額の税を納めればよいため蓄財が可能になる (国司の地位の利権化) → <u> </u>・<u> </u>の盛行</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">[国司の地位の利権化]</p> <p>① <u> </u> (一定の財物を朝廷に納めて、国司などの官職に任命される) ② <u> </u> (一定の財物を朝廷に納めて、国司などの官職に再任される) ③ <u> </u> (現地に赴任する最上級の国司(守) = 貪欲な者が多かった) ex. <u> </u> (<u> </u>守) 『<u> </u>』 (<u> </u>年) <u> </u> 力案にわたる悪政を郡司・百姓に訴えられる <u> </u> (<u> </u>守) 「<u> </u>は倒れるところに土をつかめ」 貪欲な受領の例として知られる in 『<u> </u>』</p> <p>④ <u> </u> (現地に赴任しない国司→代わりに <u> </u>を派遣し代行させる) <u> </u> (国務の代行者) が現地の <u> </u> (国衙) の国務を担当し、 <u> </u> (国衙の実務にあたる現地の地方役人の総称) を指揮する</p> </div> <p>① 浮浪・逃亡・偽籍の激化 + 有力農民と院宮王臣家の結びつき = 戸籍・計帳の制度が崩壊し、戸籍・計帳に基づいて、班田収授を実施したり、徴税をするのはもはや不可能 ② 成年男子を中心に庸・調などを賦課する人頭税から (~9世紀) 土地の面積に応じて官物などを賦課する土地税へ転換(10世紀)</p>

図解NOTE① [律令制度の崩壊]

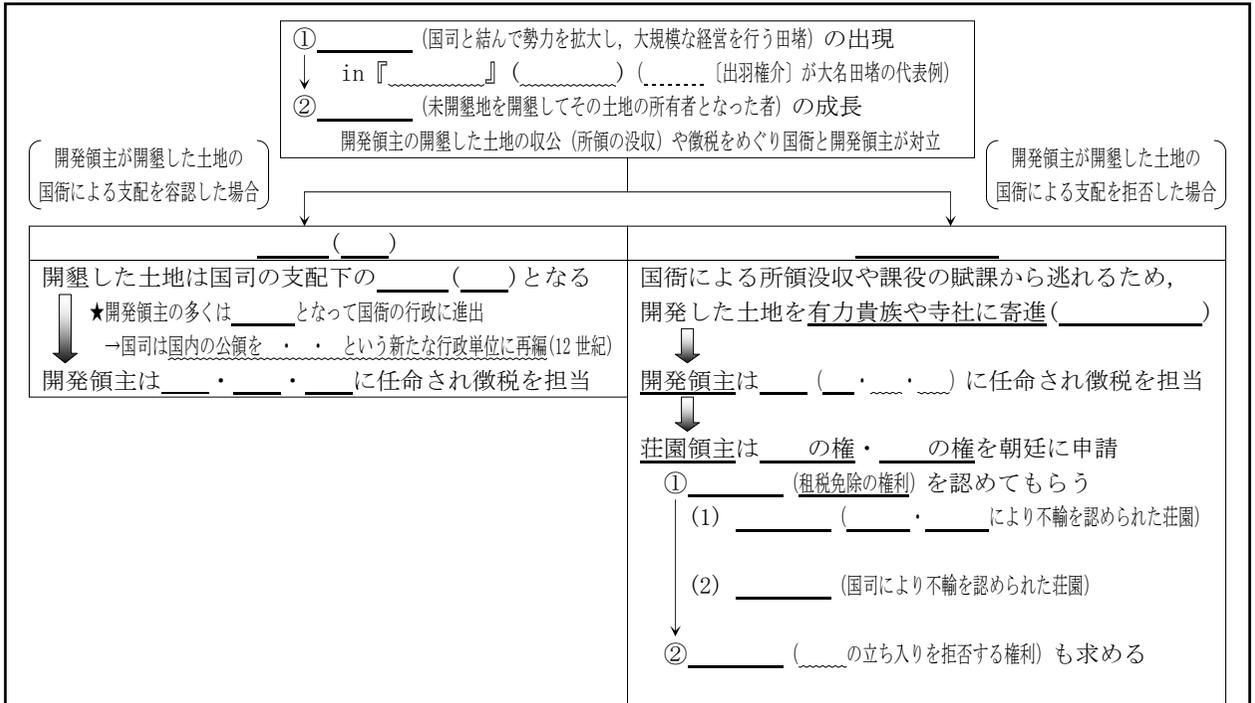
① 戸籍・計帳に基づいて口分田を班給し(班田収授)、正丁を中心に調・庸などを徴収



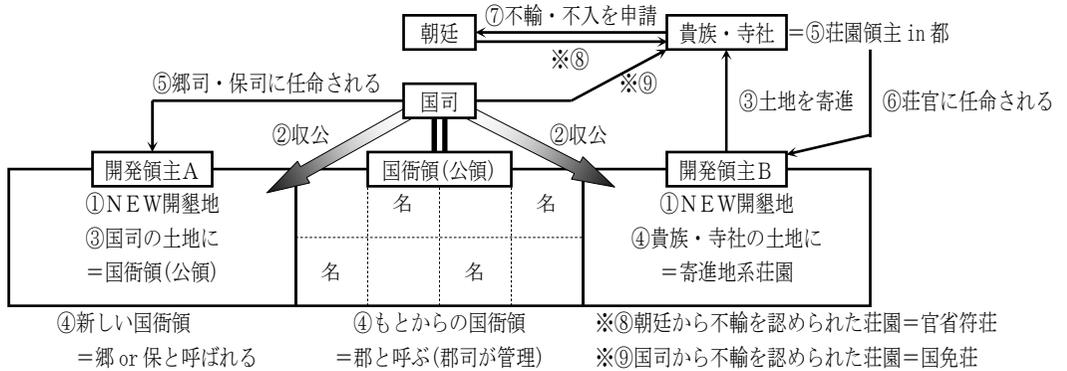
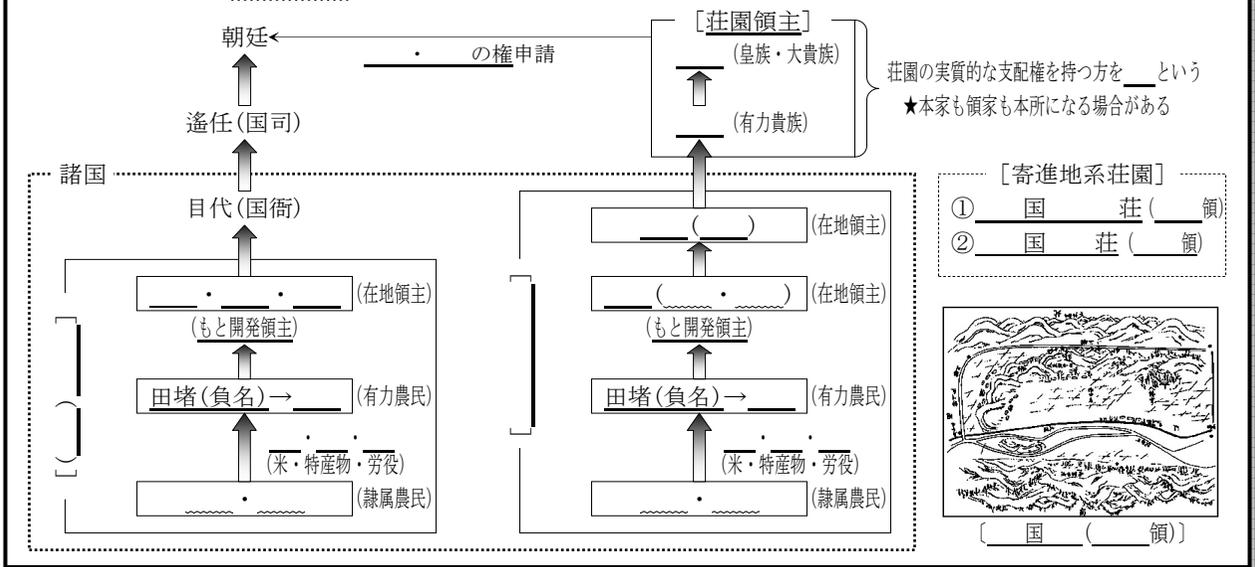
図解NOTE② [地方制度の転換]



[B] 荘園公領制 (11世紀～12世紀)



図解NOTE③ [_____ (荘園と公領からなる土地領有体制)]



[B] 平氏政権 (律令制に基づいた貴族的性格をもつ一方、西国武士の家人化や日宋貿易など武家的性格を合わせもつ過渡的政権)

平氏政権(六波羅政権)

年 _____ (六波羅殿) が _____ に就任

★平氏一門で官職を独占 (→旧勢力からの反発を受ける)

ex. _____ 「此一門にあらざらむ人は皆人非人なるべし」 in 『 _____ 』

年 _____ (後白河法皇らによる平氏打倒計画が漏洩)

→ _____ (共に処刑) ・ _____ (喜喜島へ配流) を処罰

年 _____ 法皇を _____ に幽閉 (→のち平清盛による専制政治へ)

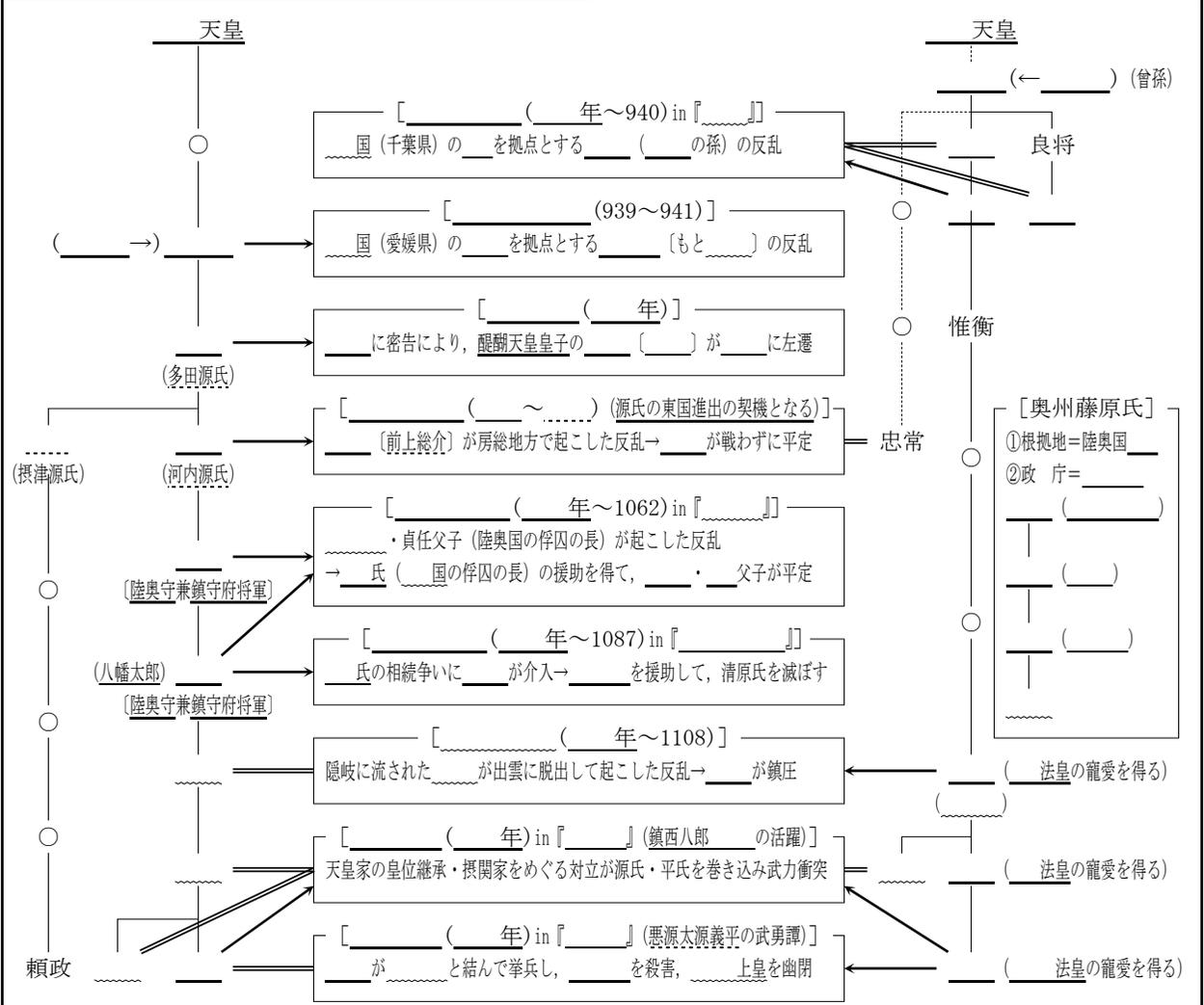
★『 _____ 』 (_____ 法皇が愛好した _____ (流行歌謡) を集成(1180頃))

1180年 _____ 天皇が譲位 → _____ 天皇 (高倉天皇と _____ の子) が即位

[経済基盤]

① _____ 国 の 知 行 国 ・ _____ ケ 所 の 荘 園
西 国 の 武 士 と 主 従 関 係 を 結 ん で 平 氏 の _____ 化 し, _____ に 任 命

② _____ (正式な国交はなく民間商船の往来による私貿易)
輸出 = _____ (陶磁器・書籍など)
→ _____ (_____ 国) 修 築 (の ち _____ と 改 称 → 現 在 の _____)
→ _____ (_____ 国) 開 削 (_____ 国 の _____ 参 詣 の た め)



図解NOTE [武士団の形成(10世紀・11世紀)]

- 10世紀**
- ① 律令体制の変質 (国司の権限強化→国司の課税率に不満をもつ有力農民が増加)
↓ → 地方政治の混乱 (収納をめぐり, 地方豪族・有力農民と国司の対立が激化)
 - ② 各地で紛争が発生 (地方豪族・有力農民が勢力を維持・拡大するため武装化)
↓ → 地方豪族が「兵の家」(地方武士団=小武士団)を形成
 - ③ 紛争解決・鎮圧のため, 国司は地方豪族を国衙に組織
→ _____ (諸国の反乱鎮圧や盗賊などの逮捕にあたる国司支配下の武士)
- 11世紀**
- ④ 荘園・公領間の紛争が激化 (荘園の増加によって荘園領主・国司が対立)
 - ⑤ 中央から軍事貴族を遣使として派遣 (紛争解決・沈静化のため)
↓ → 軍事貴族が土着 (地方武士団(小武士団)と主従関係を結んで大武士団を形成)
 - ⑥ 武家の _____ となる ex. 桓武平氏・清和源氏

